

ブレイルセンスシックス 指導者向け操作マニュアル

—ファームウェア 70458(20250818 版)—

(第2版)



ブレイルセンス シックス
Braille SENSE 6



ブレイルセンス シックスミニ
Braille SENSE 6 mini

社会福祉法人 全国盲ろう者協会 編著

目次

凡例	目次 7
第 1 部 ブレイルセンスシックス／シックスミニの概要	1
1 シックス／シックスミニについて	2
2 各部の名称と役割	3
(1) キーの配列	3
(2) 点字キー	5
(3) [コントロール] と [オルト]	5
(4) ファンクションキー	6
(5) 点字ディスプレイ	6
(6) 電源ボタン	6
(7) キーロックスイッチ	6
3 シックスのインターフェース	7
(1) トップパネル	7
(2) 右側面	7
(3) 左側面	8
(4) 背面	8
(5) 裏側	8
(6) SD カードの向きに注意	8
4 シックスミニのインターフェース	9
(1) 右側面	9
(2) 左側面	9
(3) 背面	10
(4) 裏側	10
(5) USB メモリ (Type-A と Type-C) の取扱いについて	10
(5) microSD カードの取り扱いについて	10
第 2 部 シックスの基本操作	13
(1) 2 種類の電源オフモード	14
(2) 起動	14
(3) 終了	14

(4) 音声のオン／オフ	15
(5) 液晶画面のオン／オフ	15
(6) 時計の表示	15
(7) バッテリー残量の確認	15
(8) ネットワーク状態の確認	16
(9) プログラムメニューの操作	16
(10) プログラムの終了	16
(11) 日本語変換の入力について	16
(12) 漢字変換候補の表示について	17
(13) 文字入力の入力モード切替え	17
(14) 入力モードの〈日本語〉について	17
(15) 英語入力について	17
第 3 部 電子メールの基本操作と設定	19
1 電子メールの基本操作	20
(1) 電子メールの起動と終了	20
(2) メールを受信する	20
(3) 本文を読む	20
(4) 返信する	21
(5) タイトル一覧の操作	21
(6) タイトル一覧の表示について	22
(7) 差出人を確認する	23
(8) 送信日時を確認する	23
(9) 差出人のアドレスを登録する	24
(10) 新規メールを作成し送信する	25
(11) 複数の人に送信する	26
(12) 各メールボックスの名称と役割	28
(13) メールが送信できたかどうかを確認する (Outbox)	28
(14) 各メールボックスを確認する	29
(15) メールを削除する	30
(16) アドレス帳を手動で登録する	31
2 メールアカウントの設定	32
(1) アカウントマネージャーの開き方	32

(2) メールアカウントの基本設定	33
(3) メールアカウントの詳細設定	34
3 タイトル一覧の表示変更	36
4 送信日時の表示変更	37
5 電子メールのメニュー操作	38
(1) メニューの参照方法	38
(2) メニュー、サブメニュー、ホットキー一覧	38
第4部 クイックブラウザ	41
1 クイックブラウザの基本操作	42
(1) クイックブラウザの起動と終了	42
(2) ページを閲覧する時の基本操作	43
(3) Yahoo を使って検索する	44
(4) お気に入りに登録する	44
(5) お気に入りリストから開く	44
(6) URL を入力して開く	45
(7) ホームを登録する	45
2 クイックブラウザで Yahoo!天気を閲覧する	46
3 クイックブラウザとウェブブラウザの操作の違いについて	47
第5部 サピエの基本操作	49
(1) サピエとは	50
(2) サピエの起動、ログイン、終了	50
(3) 点字図書をダウンロードする	51
(4) 点字図書を読む	52
第6部 乗り換え検索の基本操作	53
(1) 乗り換え検索の基本操作	54
第7部 簡単スケジューラーの基本操作	57
(1) 簡単スケジューラーの特徴	58
(2) 簡単スケジューラーの起動と終了	58
(3) 日付けの選択方法	58
(4) 予定を入力する	59
(5) 予定の内容を確認する	59
(6) 予定を修正する	60

(7) 予定を削除する	60
(8) 表示を切り替える（ビュー切り替え）	61
第 8 部 オプション設定	63
(1) オプション設定の開き方	64
(2) オプション設定の基本操作	64
(3) 盲ろう者に有効な設定項目	64
(4) オプション設定のバックアップについて	68
第 9 部 バックアップ／復旧オプション	69
(1) バックアップ／復旧オプションとは	70
(2) バックアップする	71
(3) 復旧する	71
(4) 無線 LAN の復旧について	71
第 10 部 無線 LAN	73
1 無線 LAN の基本設定	74
(1) オプション設定で無線 LAN をオンにする	74
(2) 無線 LAN を設定する	74
2 ネットワーク名が参照できない（SSID ステルス）の場合の設定	75
3 無線 LAN が繋がらない時の対応	76
(1) モバイルルーターの電源の確認	76
(2) オプション設定の無線 LAN がオンになっているかを確認	76
(3) システムリセット（再起動）	76
(4) 無線 LAN の再設定	77
(5) 誤って設定したアクセスポイントのネットワーク名を削除	77
第 11 部 ファームウェア	79
1 ファームウェアの確認	80
(1) ファームウェアのバージョンの確認	80
(2) ファームウェアのバージョンの表記について	80
2 ファームウェアの更新	82
(1) シックスミニでの注意点	82
(2) バックアップする	82
(3) ファームウェアの更新	82
(4) 復旧する	83

第 12 部	シックスアプリ	85
(1)	シックスアプリとは	86
(2)	シックスミニでの注意点	86
(3)	新規アプリのインストール	86
(4)	アプリの更新	88
(5)	Google Play プロテクトにインストールがブロックされた場合	89
(6)	アプリのアンインストール	89
第 13 部	システムリセット・設定の初期化	91
1	システムリセット（再起動）	92
2	設定の初期化	92
(1)	バックアップする	92
(2)	設定の初期化	92
(3)	復旧する	93
第 14 部	よくあるトラブル	95
(1)	電源はオンになるがキー操作を受けつけない	96
(2)	点字表示が消えてしまい音声が出てしまう	96
(3)	インターネット接続ができない	96
(4)	英語の表記が変わってしまう	96
(5)	時刻の表示がおかしい	97
(6)	片手モードになってしまった	97
第 15 部	ネット環境の整備	99
(1)	盲ろう者を取り巻くインターネット環境の現況	100
(2)	ブレイルセンスのネット接続の方法	100
(3)	固定回線におけるインターネット構築	100
(4)	モバイル回線におけるインターネット構築	101
(5)	格安 SIM を導入する場合の注意事項	101
(6)	ルーターの端末についての注意	102
第 16 部	シックスで iPhone を使う	103
1	iPhone の点字ディスプレイへの対応について	104
(1)	はじめに	104
(2)	iPhone の点字ディスプレイへの対応	104
2	iPhone の設定	105

(1)	VoiceOver のオン／オフを切り替える設定	105
(2)	点字表の変更	105
(3)	VoiceOver の各種設定	106
3	シックスと iPhone を接続／接続解除する	108
(1)	シックスと iPhone を Bluetooth で接続する	108
(2)	シックス：iPhone との接続を解除する	109
4	シックスから iPhone を操作する	110
(1)	ホーム画面の基本操作	110
(2)	アプリの名前を指定して起動	110
(3)	文字入力	111
5	ライブキャプションの点字表示機能（iOS26）	112
6	音声アシスタント Siri を点字で操作する	113
(1)	Siri を点字で操作するための設定	113
(2)	シックスから Siri に話しかける	114

凡例

●各記号について

[エンター]

エンターキーを押すという意味です。[] で括ってある文字列はブレイルセンスのキーの名称を表します。

[5]

点字キーの5のキーを押すという意味です。

[ラ (e) (1・5)]

点字キーで日本語点字のラを押すことを意味します。点字が苦手なユーザーに指導することを念頭に置き、本マニュアルでは日本語点字を優先し記していますが、この場合、正しい認識は英語点字のeです。ラもeも点字の1の点と5の点で表記されるため、日本語点字、英語点字、点字の番号を併記しています。

[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)]

スペースキーとマを同時に押すという意味です。

<ファイル管理>

< > で括ってある文字列はブレイルセンスに表示されるメニュー項目やメッセージを表します。

<3・6>

3の点と6の点が点字ディスプレイに表示されることを意味します。

●ショートカットキー情報、ホットキー情報、コントロール情報の表記について

本マニュアルでは、ショートカットキー情報、ホットキー情報、コントロール情報の表示をオフにした状態で記します。

例) 表示をすべてオンにした場合 … <返信 (r) enter-r MI>

表示をすべてオフにした場合 … <返信>

表示の設定は<オプション設定>で変更できます。詳しくは「第8部 オプション設定」を参照してください。

●ブレイルセンスシックスの表記について

本マニュアルでは、ブレイルセンスシックスとブレイルセンスシックスミニを総称して「シックス」と表記します。

ブレイルセンスシックスとブレイルセンスシックスミニを区別するときは、それぞれ「シックス」「シックスミニ」と略します。

第 1 部

ブレイルセンスシックス／ シックスミニの概要

- 1 シックス／シックスミニについて
- 2 各部の名称と役割
- 3 シックスのインターフェース
- 4 シックスミニのインターフェース

1 シックス／シックスミニについて

ブレイルセンスシックスは、32 マスの点字ディスプレイを搭載した点字情報端末です。2021 年 9 月 24 日に発売されました。価格は 599,000 円です。

ブレイルセンスシックスミニは、20 マスの点字ディスプレイを搭載した、シックスより一回り小さい点字情報端末です。2022 年 5 月 23 日に発売されました。価格は 398,000 円です。

シックス・シックスミニどちらとも同じ性能を有しています。これまでのブレイルセンスの機能を継承しながら、Android OS10 を搭載するため、一般の Android アプリの利用も可能となっています。

シックスが搭載する 32 マスの点字ディスプレイは、日本で使われる点字用紙の 1 行分が表示可能です。それに対して、シックスミニの点字ディスプレイは 20 マスのため、点字用紙 1 行分を 2 分割して読むことになります。

シックスには、内蔵ディスプレイが搭載されており、点字表示している内容を墨字で確認することが可能です。シックスミニには、内蔵ディスプレイは搭載されていません。

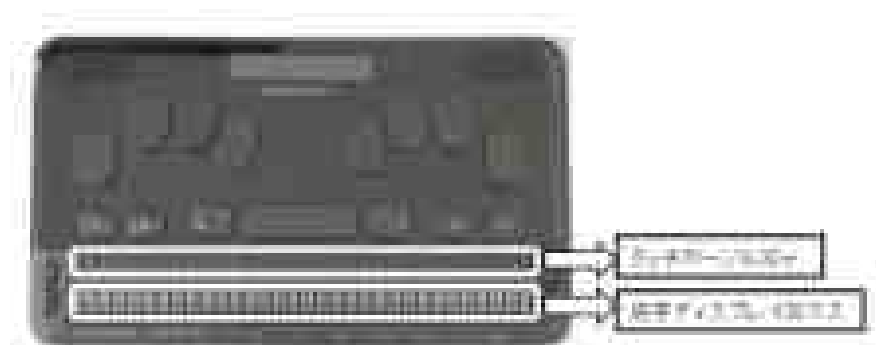
シックス／シックスミニを日常生活用具給付申請する場合、点字ディスプレイの給付限度額が 383,500 円であるため、シックスミニであれば、自己負担が少なく済む一方で、シックスの場合は 210,000 円を超える自己負担が発生することになります。

なお、ブレイルセンスが日常生活用具給付の対象になっているかどうかは市町村によって異なりますので、購入を検討する際は市町村に確認するようにしてください。

2 各部の名称と役割



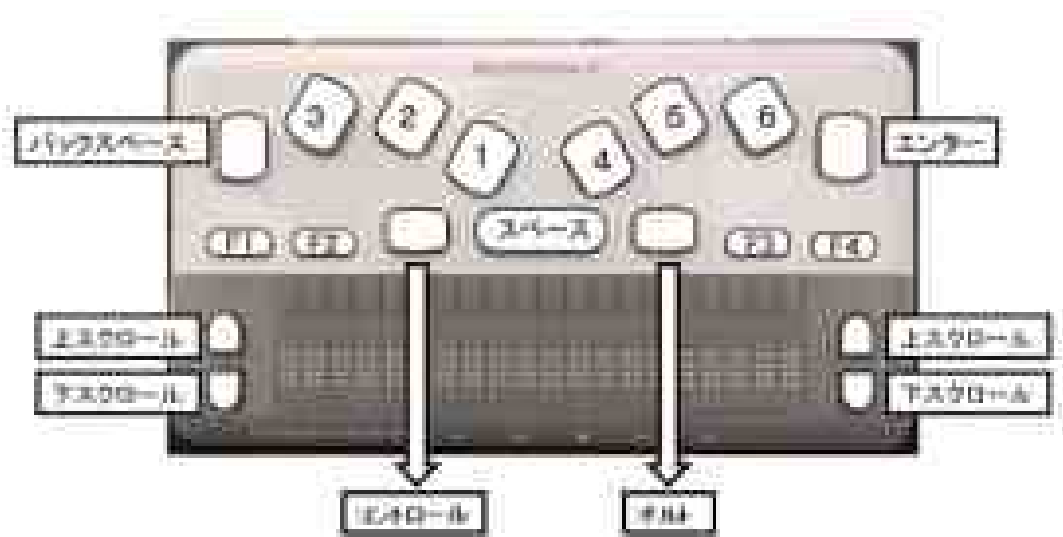
画像：シックスのトップパネルのキーの名称



画像：シックスの点字ディスプレイとタッチカーソル



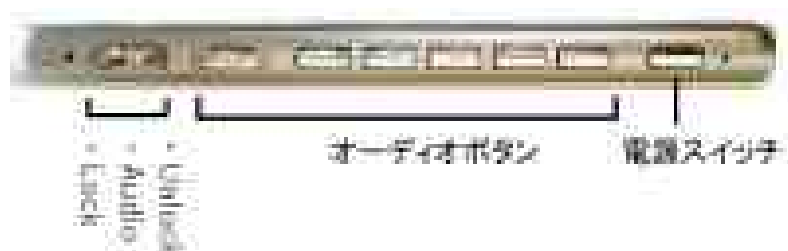
画像：シックス前面の電源ボタンとオーディオボタンとキーロックスイッチ



画像：シックスミニのトップパネルのキーの名称



画像：シックスミニの点字ディスプレイとタッチカーソル



画像：シックスミニ前面の電源ボタンとオーディオボタンとキーロックスイッチ

(1) キーの配列

[スペース] … 中央にある横長のキー。
[点字キー] … [スペース] の上部に左右 3 個ずつある縦長のキー。
[エンター] … 一番右の縦長のキー。
[バックスペース] … 一番左の縦長のキー。
[コントロール] … [スペース] の左側にあるキー。
[オルト] … [スペース] の右側にあるキー。
[ファンクション] … [コントロール] [スペース] [オルト] をはさんで左右 2 個ずつある横長のキー。左から [F 1] [F 2] [F 3] [F 4]。
[スクロール] … 点字ディスプレイの左右に 2 個ずつあるキー。上が [上スクロール]、下が [下スクロール]。
[タッチカーソル] … 点字表示部の上にある小さなキー。点字の各マスの上にあるので、シックスは 32 個、シックスミニは 20 個ある。

(2) 点字キー

ブレイルセンスはパーキンス方式で入力します。

左手 … 人差し指が [1] の点、中指が [2] の点、薬指が [3] の点
右手 … 人差し指が [4] の点、中指が [5] の点、薬指が [6] の点

(3) [コントロール] と [オルト]

[コントロール] は上方向に、[オルト] は下方向に移動します。場面によって [コントロール] は [上スクロール] に、[オルト] は [下スクロール] に代替できます。しかし本来の役割は若干異なりますので、指導する際は各キーの特徴を知ったうえで使い分ける必要があります。

また、Android の Google play ストアなどからダウンロードした一般のアプリケーションを操作するときは [コントロール] と [オルト] を使うと便利です。

[コントロール] … 上方向へ移動。[スペース] + [1] とほぼ同じ役割。
[オルト] … 下方向へ移動。[スペース] + [4] とほぼ同じ役割。
[上スクロール] … 点字ディスプレイに表示しきれない点字を、文章の前方にスクロールする。場面によっては [コントロール] と同様の役割がある。
[下スクロール] … 点字ディスプレイに表示しきれない点字を、文章の後方にスクロールする。場面によっては [オルト] と同様の役割がある。
★点字を触読しながら操作する時は、[コントロール] や [オルト] よりも [上スクロール] や [下スクロール] の方が便利な場合があります。

(4) ファンクションキー

- | | | |
|---------|---|--|
| [F 1] | … | プログラムメニューが開く。押すと〈ファイル管理〉と表示される。スマートフォンのホームキーと類似した機能。 |
| [F 2] | … | プログラム内の固有のメニューを表示させるときに押す。パソコンの Alt キーと類似した機能。★前述の(3)で説明した [オルト] とは別の機能。 |
| [F 3] | … | ダイアログ内での項目間を移動するときには押す。パソコンの Tab キーと類似した機能。 |
| [F 4] | … | 現在の操作を取り消したいときに押す。パソコンの Esc キーと類似した機能。 |

(5) 点字ディスプレイ

点字ディスプレイは、シックスは 32 マス、シックスミニは 20 マスあります。

点字の各マスの上に同じ数のタッチカーソルがあります。

(6) 電源ボタン

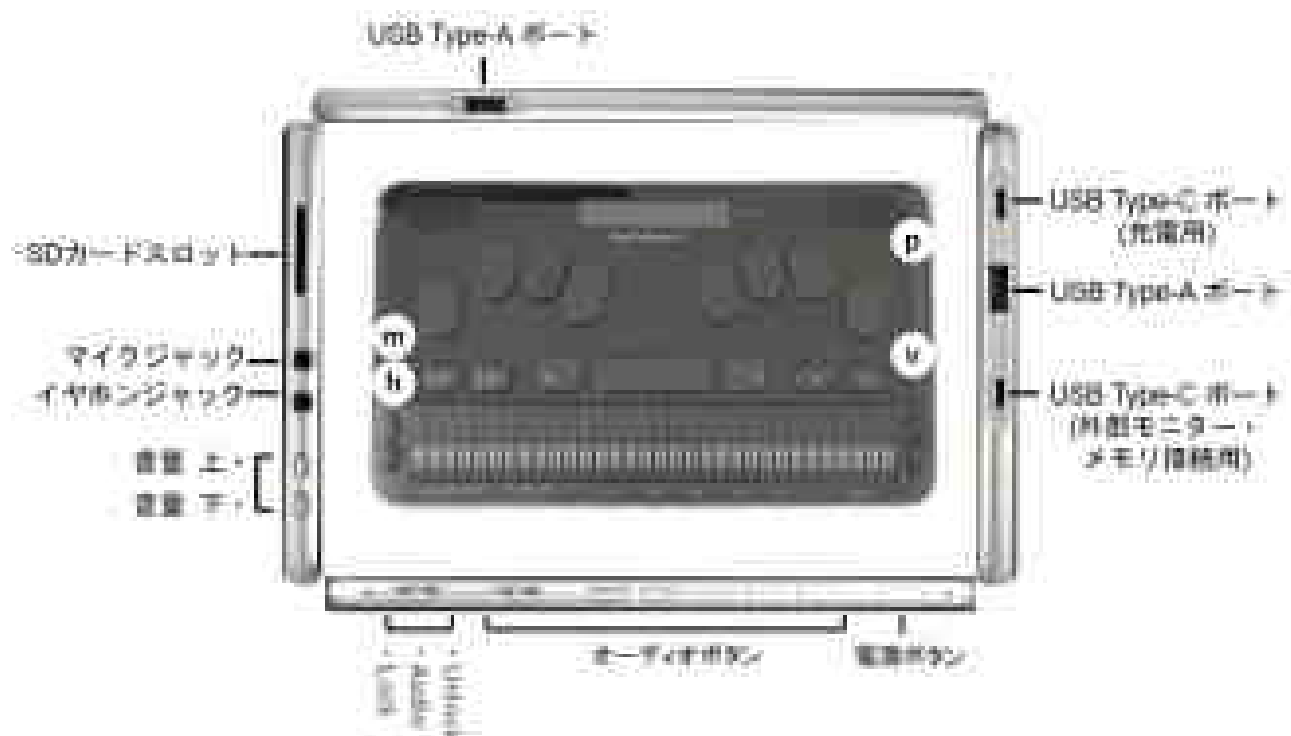
電源ボタンは本体の前面の一番右にあります。起動および終了するときはこのボタンを押します。

(7) キーロックスイッチ

キーロックスイッチは以下の 3 段階に切り替えることができます。

- | | | |
|--------|---|--|
| Lock | … | キーロック。
キーが物などにぶつかりブレイルセンスが誤作動してしまわないよう、すべてのキーを無効にする。ブレイルセンスをカバンの中に入れて持ち運ぶ時など便利。 |
| Audio | … | 点字キーロック。
前面にあるオーディオボタンだけ有効になり、点字キーをはじめとした上面にある操作キーは無効になる。音楽などの音響データを聴きたい時で上面のキーによる誤作動を防ぐ時に使用する。盲ろう者はほとんど使わない。 |
| Unlock | … | キーロック解除。すべてのキーが有効になる。 |

3 シックスのインターフェース



画像：シックスのインターフェース

(1) トップパネル

点字キー [1] と [4] の奥に液晶ディスプレイ、[エンター] と [バックスペース] の奥にスピーカーがあります。

液晶ディスプレイには墨字が表示されます。液晶ディスプレイの右側には電源オンや電源コードの接続時に点灯するインジケータランプがあります。

スピーカーはステレオです。

(2) 右側面

右側面には3つの差し込み口があります。

手前から USB Type-C ポート（外部モニター・メモリ接続用）、その奥が USB Type-A ポート、一番奥が USB Type-C ポート（充電用）です。外部モニター・メモリ接続用ポートと充電用ポートはどちらも USB Type-C ポートで同じ形状ですので、差し間違いを防ぐために、モニター・メモリ接続用には「v (ヒ)」(video の頭文字)、充電用には「p (ネ)」(power の頭文字) の点字が、それぞれのポートの上部に付けられています。

(3) 左側面

左側面には2つのボタンと3つの差し込み口があります。

手前に2つのボタンがあり、一番手前が音量ボリュームを下げるボタン、その奥が音量ボリュームを上げるボタンです。

音量ボタンの奥には2つの丸いジャックがあります。手前がイヤホン挿すジャックで、奥がマイク挿すジャックです。イヤホンジャックには「h(リ)」(headphoneの頭文字)、マイクには「m(ヌ)」(microphoneの頭文字)の点字が、それぞれのジャックの上部に付けられています。

ジャックの奥にSDカードスロットがあります。

(4) 背面

背面には左側にUSB Type-Aポートがあります。

(5) 裏側

シックスの裏側にはバッテリーとカメラがあります。

バッテリーは裏側の中央背面側にあります。バッテリーの右側に小さなスライド式のロックスイッチがあり、ロックスイッチを右にスライドさせることでバッテリーを取り外すことができます。バッテリーを取り外す時は、必ず電源を完全に切ってから行うようにしてください。

バッテリーの左側にカメラ、カメラのすぐ下にライトがあります

(6) SDカードの向きに注意

シックスにSDカードを挿す時は、ラベル面を下に向け、斜めになっている角を右奥になるようにして差し込みます。



画像：シックスにSDカードを差し込んでいる写真

4 シックスミニのインターフェース



画像：シックスミニのインターフェース

(1) 右側面

右側面には2つの差し込み口があります。

手前が USB Type-C ポート（外部モニター・メモリ接続用）、奥が USB Type-C ポート（充電用）です。外部モニター・メモリ接続用ポートと充電用ポートはどちらも USB Type-C ポートで同じ形状ですので、差し間違いを防ぐために、モニター・メモリ接続用には「v（ヒ）」（video の頭文字）、充電用には「p（ネ）」（power の頭文字）の点字が、それぞれのポートの上部に付けられています。

(2) 左側面

左側面には2つのボタンと2つの差し込み口があります。

手前に2つのボタンがあり、一番手前が音量ボリュームを下げるボタン、その奥が音量ボリュームを上げるボタンです。

音量ボタンの奥には2つの丸いジャックがあります。手前がイヤホンを挿すジャックで、奥がマイクを挿すジャックです。イヤホンジャックには「h（リ）」（headphone の頭文字）、マイクジャックには「m（ヌ I）」（microphone の頭文字）の点字が、それぞれのジャックの上部に付けられています。

(3) 背面

背面から裏側にかけてバッテリーがセットされています。バッテリーを外すと microSD カードのスロットがあります。



画像：シックスミニの microSD カードスロット

(4) 裏側

シックスミニの裏側にはバッテリーとスピーカーとカメラがあります。

バッテリーは裏側の中央背面側にセットされています。バッテリーの右側にスライド式のロックスイッチ、左側にはスライド式のリリーススイッチがあります。ロックスイッチを左にスライドさせロックを解除し、さらにリリーススイッチを右にスライドさせ、背面側に滑らせるようにしてバッテリーを取り外します。バッテリーを取り外す時は、必ず電源を完全に切ってから行うようにしてください。

スピーカーは裏側の中央前面側にあり、モノラルです。

カメラは中央にあり、右側にライトがあります。

(5) USB メモリ（Type-A と Type-C）の取扱いについて

シックスミニでは Type-C の USB メモリが使えますが、USB メモリは必ず外部モニター・メモリ接続用の USB Type-C ポート（点字で v（ヒ）とあるポート）に接続してください。充電用のポート（点字で p（ネ）とあるポート）に接続しても USB メモリとしては認識されません。

なお、シックスミニを購入すると付属品として USB TypeA to C 変換アダプタが同梱されますので、それを用いて TypeA の USB メモリを使うこともできます。接続するポートは上と同様で、必ず外部モニター・メモリ接続用の USB Type-C ポート（点字で v（ヒ）とあるポート）に接続するようにしてください。

(6) microSD カードの取扱いについて

シックスは SD カードが使えますが、シックスミニは microSD カードしか使えません。

パソコンからファームウェアのプログラムをコピー等をする場合は、SD カード変換アダプタを用意し、microSD カードをセット、それをパソコン等に挿してコピーやダウンロードを行

います。

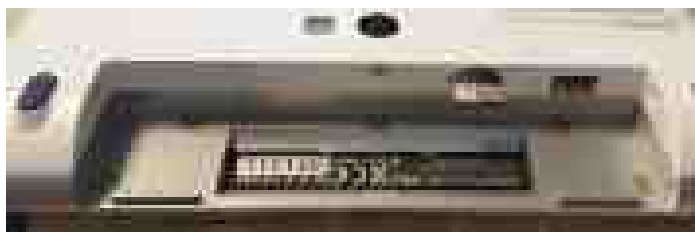


画像：microSD カード（右）と
microSD カードのアダプタ（左）



画像：microSD カードのアダプタ
に microSD カードを差し込む

必ずシックスミニの電源を完全に切ってからバッテリーを外し、SD カード変換アダプタから取り出した microSD カードを、microSD カードスロットに挿して使ってください。



画像：シックスミニに microSD カードを差し込んでいる写真

第 2 部

シックスの基本操作

(1) 2 種類の電源オフモード

シックスには次のような 2 種類の電源オフが存在します。指導するうえで、まずはその特徴を知っておく必要があります。

a) 完全に電源が切れている状態

→ シックスを起動するのに約 40 秒程度の時間がかかる。

b) スリープ（スタンバイモード）

→ 瞬時にシックスが起動する。

★「スタンバイモード」とも呼びますが、本マニュアルでは「スリープ」と呼びます。

シックスをしばらく使用しない場合は a の完全に電源を切る方法を推奨します。b のスリープの状態はすぐに起動することができますが、バッテリーを消費します。一方、a の完全に電源が切れている状態ではバッテリーはほとんど消費されません。

(2) 起動

a) 電源が完全に切れている状態から起動

①キーロックスイッチを右側にスライドし、キーロックを解除する。

②電源ボタンを 1 秒以上長押しする。

→ 最初に起動中という意味の英語が点字ディスプレイに表示され、40 秒ほどで〈ファイル管理〉などが表示され、起動する。

b) スリープの状態から起動

①スリープの状態では電源ボタンを押す。

→ シックスが瞬時に起動する。

(3) 終了

a) 電源を完全に切る

①電源ボタンを 5～7 秒以上押し続ける。

→ 〈電源オフ〉と表示されるので [エンター] を押す。

★この時 [下スクロール] または [オルト] を押すと〈再起動〉〈取消〉を選ぶことができる。〈再起動〉で [エンター] を押すとシックスが再起動する。〈取消〉で [エンター] を押すと、電源は切れずに元の状態に戻る。

②シックスがシャットダウンして電源が完全に切れる。

b) スリープにする

①電源ボタンを押す。

→ 点字ディスプレイの点字表示が消え、スリープ状態になる。

(4) 音声のオン／オフ

[バックスペース] + [F 2]

初期設定では、操作の状態を音声読み上げするように設定されています。音声の読み上げを行いたくないときは、[バックスペース] + [F 2] を押します。もう一度同様の操作を行うと音声読み上げが行われます。このように、[バックスペース] + [F 2] を押すごとに、音声のオン／オフを交互に切り替えることができます。

(5) 液晶画面のオン／オフ

プログラムメニューを表示した状態で以下のホットキーを押します。

[エンター] + [4・5・6]

初期設定では、本体の液晶画面は非表示になっています。操作の状態を液晶画面に表示したいときは、[エンター] + [4・5・6] を押します。押すごとに画面表示を〈オン〉〈全て（ライティング）〉〈オフ〉に切り替えられます。

★本機能は、液晶ディスプレイを搭載するシックスのみ有効で、シックスミニでは使用できません。

(6) 時計の表示

[スペース] + [ト (t) (2・3・4・5)]

[F 4] を押すと元の表示に戻ります。

★時刻の表示方法の変更は「第3部 電子メールの基本操作と設定」の「4 送信日時の表示変更」の〈時間制〉の設定を参照。

(7) バッテリー残量の確認

[スペース] + [カ (1・6)]

[F 4] を押すと元の表示に戻ります。

★10%以下になったら充電するようにしてください。

(8) ネットワーク状態の確認

プログラムメニューを表示した状態で以下のホットキーを押します。

[スペース] + [ツ (n) (1・3・4・5)]

一瞬〈確認中〉と表示され、次に〈状態：オンライン〉と表示されれば、通信ができています。インターネットに接続されていない時は〈状態：オフライン〉と表示されます。

[F 4] を押すと元の表示に戻ります。

(9) プログラムメニューの操作

プログラムメニューとは、シックスのメインとなるメニューです。「メインメニュー」と呼ばれることもあります。

①シックスの電源を入れる。

→ 〈ファイル管理〉と表示される。

★〈ファイル管理〉はプログラムメニューの一番上にあるプログラムです。

② [下スクロール] または [オルト]、[上スクロール] または [コントロール] を押して、〈電子メール〉など利用したいアプリケーションやプログラムを表示させる。

③ [エンター] を押す。

○補足

プログラムメニューの一番上が〈ファイル管理〉、一番下が〈ブレイルセンス情報〉です。

〈ファイル管理〉で [上スクロール] または [コントロール] を何回押しても〈ファイル管理〉のまま表示は変わりません。同じように、〈ブレイルセンス情報〉で [下スクロール] または [オルト] を何回押しても〈ブレイルセンス情報〉のまま表示は変わりません。

(10) プログラムの終了

[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)]

各アプリケーションまたは各プログラムの中にいる状態で、[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押します。

アプリケーションまたはプログラムが終了し、プログラムメニューのプログラム名に表示が戻ります。

(11) 日本語変換の入力について

点字キーでかな点字を入力し [エンター] を押すと、平仮名のまま文字が確定されます。

かな点字を入力し [スペース] を押すと、漢字変換候補が表示されます。さらに [スペース] を押していくと次々に漢字変換候補が表示されますので、目的の漢字変換候補が表示されたら [エンター] を押し、漢字を確定させます。

(12) 漢字変換候補の表示について

シックスでは点字および液晶画面に漢字変換候補が次のように表示されます。

例) 「全国」の場合: マツタノ ゼン クニ コク
「盲」の場合: モーテンノ モー
「ろう者」の場合: ロウモノ シヤ
「協会」の場合: キョーリョクノ キョー アウノ カイ

(13) 文字入力の入力モード切替え

a) 〈英語〉と〈日本語変換〉の切替え

[F 1] + [F 3]

[F 1] + [F 3] を押すたびに〈英語〉か〈日本語変換〉どちらかが表示されます。例えば、〈日本語変換〉を選択したい時は [F 1] + [F 3] を何度か押し、〈日本語変換〉が表示されたら数秒待ちます。元の表示に戻ったら切り替え完了です。

b) 〈英語〉〈英語全角〉〈日本語〉〈日本語変換〉の切替え

[F 2] + [F 4]

[F 2] + [F 4] を押すたびに〈英語〉〈英語全角〉〈日本語〉〈日本語変換〉の4つが選択できます。[F 2] + [F 4] を何度か押し、目的の入力モードが表示されたら数秒待ちます。元の表示に戻ったら切り替え完了です。

(14) 入力モードの〈日本語〉について

入力モードの〈日本語〉は平仮名を直接入力することができます。この場合、漢字変換はできず、かなを入力すると [エンター] を押さなくても、そのまま平仮名が確定されます。

漢字変換が苦手なユーザーに向いています。ただし、全部平仮名で書かれた文章は、点字表示において、分かち書きが正しく表示されません。

〈日本語〉への切り替え方法は前述の「(13) 文字入力の入力モード切替え」を参照ください。

(15) 英語入力について

前述の「(13) 文字入力の入力モード切替え」を参考に、入力モードを〈英語〉に切り替えてください。英語点字（外文字や外国語引用符は不要）で入力できます。

日本語変換で入力したい時は、入力モードを〈日本語変換〉に切り替えてください。

第 3 部

電子メールの基本操作と設定

- 1 電子メールの基本操作
- 2 メールアカウントの設定
- 3 タイトル一覧の表示変更
- 4 送信日時の表示変更
- 5 電子メールのメニュー操作

1 電子メールの基本操作

(1) 電子メールの起動と終了

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈電子メール〉に移動する。
- ② [エンター] を 1 回押し〈電子メール〉を起動する。
 - 受信メールがない時は〈リストなし〉と表示される。
 - 受信メールがある時はタイトル一覧が表示される。
- ③ 電子メールを終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を 1 回押す。
 - 〈電子メール〉の表示に戻る。

(2) メールを受信する

- ① 〈電子メール〉を起動する。
 - 受信メールがない時は〈リストなし〉と表示される。
 - 受信メールがある時はタイトル一覧が表示される。
 - ② [エンター] + [ツ (n) (1・3・4・5)] を 1 回押す。
 - 一瞬〈メールサーバに接続中〉〈1 通受信します。〉〈1 通受信：成功 1〉と表示される。
 - ③ メールが受信されると自動的にタイトル一覧に戻る。
 - 点字に〈3・6 タイトル：(タイトル) …〉と表示される。
 - 受信メールがない場合は〈メールがありません。〉と表示されタイトル一覧に戻る。
 - ④ [F 4] を 1 回押してタイトル一覧に戻る。
 - 〈3・6〉が取れ、〈タイトル：(タイトル) …〉と表示される。
- ★タイトル一覧の表示については後述の「(6) タイトル一覧の表示について」を参照してください。

(3) 本文を読む

- ① タイトル一覧で [コントロール] または [上スクロール]、[オルト] または [下スクロール] を押して読みたいメールのタイトルを表示させる。
- ② [エンター] を 1 回押す。 → 〈本文：(文章)〉と表示される。
- ③ [下スクロール] を押して文章を読む。文章を読み返すときは [上スクロール] を押す。
- ④ [F 4] を 1 回押してタイトル一覧に戻る。

(4) 返信する

a) 本文から返信する

- ①タイトル一覧で[コントロール]または[上スクロール]、[オルト]または[下スクロール]を押して返信したいメールを表示させる。
- ②[エンター]を1回押す。 → 〈本文:(文章)〉と表示。
- ③本文の内容を[下スクロール]や[上スクロール]で読み確認する。
- ④[エンター]+[チ(r)(1・2・3・5)]を押す。
→ 〈メッセージ本文:〉と表示。
- ⑤文章を入力する。
- ⑥[エンター]+[ノ(s)(2・3・4)]を押す。
→ メールが送信され、受信メールの本文に戻る。
- ⑦[F4]を押す。 → タイトル一覧に戻る。

b) タイトル一覧から返信する

- ①タイトル一覧で[コントロール]または[上スクロール]、[オルト]または[下スクロール]を押して返信したいメールを表示させる。
★本文の内容を確認する必要がない場合は⑤へ進む。
- ②[エンター]を1回押す。 → 〈本文:(文章)〉と表示。
- ③本文を[下スクロール]や[上スクロール]で読み、内容を確認する。
- ④[F4]を1回押す。 → タイトル一覧に戻る。
- ⑤[エンター]+[チ(r)(1・2・3・5)]を押す。
→ 〈メッセージ本文:〉と表示。
- ⑥文章を入力する。
- ⑦[エンター]+[ノ(s)(2・3・4)]を押す。
→ メールが送信され、タイトル一覧に戻る。

(5) タイトル一覧の操作

a) 古いメールへ移動

[コントロール]または[上スクロール]を押すと、送信日時が古いメールに一つずつ移動します。点字ディスプレイに表示しきれない文字は[下スクロール]を押して確認します。
受信メールが5通あった場合、メール番号〈1/5〉が最も古いメールです。

b) 新しいメールへ移動

[オルト]または[下スクロール]を押すと、送信日時が新しいメールに一つずつ移動します。点字ディスプレイに表示しきれない文字は[下スクロール]を押して確認します。
受信メールが5通あった場合、メール番号〈5/5〉が最も新しいメールです。

(6) タイトル一覧の表示について

シックスのタイトル一覧の表示は、ブレイルセンス U2 以前の「旧センスシリーズ」と異なりますが、表示を変更することで旧センスシリーズの表示に近づけることができます。また、旧センスシリーズを使っていたという盲ろう者だけでなく、シックスで初めてブレイルセンスを使うという盲ろう者にとっても、変更することで使いやすくなります。

★変更の方法は、後述の「3 タイトル一覧の表示変更」を参照してください。

a) 変更前のタイトル一覧表示

初期設定のタイトル一覧では、メール情報は次のように表示されます。

タイトル:(タイトル) 差出人:(差出人名 メールアドレス) 日付:(送信日時) 宛先:(宛先名 メールアドレス) 2/5

★点字ディスプレイに表示しきれない部分は、[下スクロール] を押して続きを読みます。

★〈2/5〉とは全部で 5 通のメールがあり、その内の 2 番目のメールのタイトルであることを示しています。

未読の場合、タイトルの前に〈-〉が、点字には〈3・6〉が表示されます。

- タイトル:(タイトル) 差出人:(差出人名 メールアドレス) 日付:(送信日時) 宛先:(宛先名 メールアドレス) 2/5

★タイトルに未読マークがない場合、そのメールはすでに読んだこと（既読）を意味します。

b) 変更後のタイトル一覧表示

タイトル:(タイトル) 2/5

未読の場合。

- タイトル:(タイトル) 2/5

(7) 差出人を確認する

a) タイトル一覧の表示を変更する前

タイトル一覧で、タイトルの後に〈差出人：(差出人名 メールアドレス)〉と表示され、差出人を確認できます。点字ディスプレイに表示しきれない部分は、[下スクロール]を押して続きを読みます。

b) タイトル一覧の表示を変更した後

- ①タイトル一覧で[コントロール]または[上スクロール]、[オルト]または[下スクロール]を押して返信したいメールを表示させる。
- ②[エンター]を押す。 → 〈本文：(文章)〉と表示。
- ③[F 3]を4回押す。
→ 〈差出人：(差出人名やメールアドレス)〉が表示されるので確認する。
- ④[F 3]を2回押す。 → 〈本文：(文章)〉に戻る。
- ⑤[F 4]を1回押す。 → 〈タイトル：(タイトル)〉と表示され、タイトル一覧に戻る。

★タイトル一覧表示をカスタマイズする方法は、後述の「3 タイトル一覧の表示変更」を参照してください。

(8) 送信日時を確認する

a) タイトル一覧の表示を変更する前

タイトル一覧で、タイトル、差出人の後に〈日付：12/15/2024…〉のように表示され、送信日時が確認できます。点字ディスプレイに表示しきれない部分は、[下スクロール]を押して続きを読みます。

b) タイトル一覧の表示を変更した後

- ①タイトル一覧で[コントロール]または[上スクロール]、[オルト]または[下スクロール]を押して返信したいメールを表示させる。
- ②[エンター]を押す。 → 〈本文：(文章)〉と表示。
- ③[F 3]を3回押す。 → 〈日付：12/15/2024…〉が表示されるので確認する。
- ④[F 3]を3回押す。 → 〈本文：(文章)〉に戻る。
- ⑤[F 4]を1回押す。 → 〈タイトル：(タイトル)〉と表示され、タイトル一覧に戻る。

★タイトル一覧表示を変更する方法は、後述の「3 タイトル一覧の表示変更」を参照。

○参考

送信日時の表示を変更することができます。詳細は後述の「4 送信日時の表示変更」を参照してください。

(9) 差出人のアドレスを登録する

- ①タイトル一覧で[コントロール]または[上スクロール]、[オルト]または[下スクロール]を押して、差出人のアドレスを登録したいメールを表示させる。
★タイトルだけでは差出人が分からない場合、[エンター]を押して本文の内容を確認し、[F4]でタイトル一覧に戻ります。その他の方法は前述の「(7) 差出人を確認する」を参照。
- ②[エンター] + [オ(i)(2・4)]を押す。
→ 〈名前：(差出人名またはメールアドレス)〉と表示。
- ③差出人名やメールアドレスがすでに書き込まれている場合は[バックスペース]で削除し、表示を空欄にする。
★差出人名を変更する必要がない場合は、⑤へ進む。
- ④名前を入力する。
- ⑤[エンター]を押す。 → 〈アドレス保存完了〉と表示され、タイトル一覧に戻る。

(10) 新規メールを作成し送信する

a) 相手の名前を検索して送信

- ①タイトル一覧で [エンター] + [ソ (w) (2・4・5・6)] を押す。
→ 〈宛先:〉と表示。
- ② [エンター] + [ニ (l) (1・2・3)] を押す。 → 〈アドレス検索:〉と表示。
- ③相手の名前を入力する。
- ④ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当の メールアドレスが表示。
- ⑤名前を確認し [エンター] を押す。 → 〈宛先: (名前) (メールアドレス);〉と表示。
- ⑥ [F 3] を 3 回押す。 → 〈タイトル:〉と表示。
- ⑦タイトルを入力する。
- ⑧ [F 3] を 1 回押す。 → 〈本文:〉と表示。
- ⑨文章を入力する。
- ⑩ [エンター] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。
→ メールが送信されてタイトル一覧に戻る。

b) 相手の名前を選択して送信

- ①タイトル一覧で [エンター] + [ソ (w) (2・4・5・6)] を押す。
→ 〈宛先:〉と表示。
 - ② [エンター] + [ニ (l) (1・2・3)] を押す。 → 〈アドレス検索:〉と表示。
 - ③ [エンター] を押す。
→ 一瞬〈10 メールアドレスが見つかりました。〉と表示され、アドレス帳の一番上のレコードが表示される。(注)
 - ④ [オルト] を押してメールを送りたい人の名前に移動。行きすぎた場合は [コントロール] を押して戻る。
 - ⑤ [エンター] を押す。 → 〈宛先: (名前) (メールアドレス);〉と表示。
 - ⑥ [F 3] を 3 回押す。 → 〈タイトル:〉と表示。
 - ⑦タイトルを入力する。
 - ⑧ [F 3] を 1 回押す。 → 〈本文:〉と表示。
 - ⑨文章を入力する。
 - ⑩ [エンター] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。
→ メールが送信されてタイトル一覧に戻る。
- (注) 〈10 メールアドレス〉の〈10〉は、登録されている件数です。

(11) 複数の人に送信する

a) 同時送信（相手の名前を検索して送信）

- ①タイトル一覧で [エンター] + [ソ (w) (2・4・5・6)] を押す。
→ 〈宛先:〉と表示される。
 - ② [エンター] + [ニ (1) (1・2・3)] を押す。 → 〈アドレス検索:〉と表示。
 - ③一人目の名前を入力する。
 - ④ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当のメールアドレスが表示される。
 - ⑤名前を確認し [エンター] を押す。
→ 〈宛先: (名前) (メールアドレス);〉と表示。
 - ⑥二人目を選ぶため、また [エンター] + [ニ (1) (1・2・3)] を押す。
→ 〈アドレス検索:〉と表示。
 - ⑦二人目の名前を入力する。
 - ⑧ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当のメールアドレスが表示。
 - ⑨名前を確認し [エンター] を押す。
→ 〈宛先: (名前) (メールアドレス); (名前) (メールアドレス);〉と表示。
- ★三人目以降は、⑥～⑨を繰り返す。
- ⑩ [F 3] を 3 回押す。 → 〈タイトル:〉と表示。
 - ⑪タイトルを入力する。
 - ⑫ [F 3] を 1 回押す。 → 〈本文:〉と表示。
 - ⑬文章を入力する。
 - ⑭ [エンター] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。
→ メールが送信されタイトル一覧に戻る。

○補足

操作手順③から⑤、⑦から⑨は、前述の「(10) 新規メールを作成し送信する」の「b) 相手の名前を選択して送信」の③から⑤の方法でも行うことができます。

b) B C C（相手の名前を検索して送信）

自分のメールアドレスがアドレス帳に登録されている前提で操作手順を示します。

- ①タイトル一覧で [エンター] + [ソ (w) (2・4・5・6)] を押す。
→ 〈宛先:〉と表示される。
- ② [エンター] + [ニ (1) (1・2・3)] を押す。 → 〈アドレス検索:〉と表示。
- ③自分の名前を入力する。
★もし自分のメールアドレスがアドレス帳に登録されていない場合は、メールアドレスを入力した後、⑥へ進む。
- ④ [エンター] を押す。

- 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当のメールアドレスが表示。
- ⑤自分の名前を確認し〔エンター〕を押す。
- 〈宛先：(自分の名前)(自分のメールアドレス);〉と表示される。
- ⑥〔F3〕を2回押す。 → 〈宛先 (bcc): 〉と表示される。(注)
- ⑦〔エンター〕+〔ニ(1)(1・2・3)〕を押す。 → 〈アドレス検索: 〉と表示。
- ⑧一人目の名前を入力する。
- ⑨〔エンター〕を押す。
- 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当のメールアドレスが表示。
- ⑩名前を確認し〔エンター〕を押す。
- 〈宛先 (bcc): (名前)(メールアドレス);〉と表示。
- ⑪二人目を選びたい場合、再度〔エンター〕+〔ニ(1)(1・2・3)〕を押す。
- 〈アドレス検索: 〉と表示。
- ⑫二人目の名前を入力する。
- ⑬〔エンター〕を押す。
- 一瞬だけ〈1 アドレスが見つかりました〉と表示され、該当のメールアドレスが表示。
- ⑭名前を確認し〔エンター〕を押す。
- 〈宛先 (bcc): (名前)(メールアドレス); (名前)(メールアドレス);〉と表示。
- ★三人目以降は、⑪～⑭を繰り返す。
- ⑮〔F3〕を1回押す。 → 〈タイトル: 〉と表示。
- ⑯タイトルを入力する。
- ⑰〔F3〕を1回押す。 → 〈本文: 〉と表示。
- ⑱メッセージを入力する。
- ⑲〔エンター〕+〔ノ(s)(2・3・4)〕を押す。
- メールが送信されタイトル一覧に戻る。
- (注)⑥で〔F3〕を1回押すと〈宛先 (cc): 〉になります。

○補足

操作手順③から⑤、⑧から⑩、⑫から⑭は、前述の「(10) 新規メールの作成と送信」の「b) 相手の名前を選択して送信」の③から⑤の方法でも行うことができます。

(12) 各メールボックスの名称と役割

電子メールには4個のメールボックス（フォルダ）があります。なお、電子メールの起動時は必ず〈Inbox〉が開くようになっています。

Inbox 1/4 … 受信メールを保存

★電子メールを起動した直後の表示は〈Inbox〉のタイトル一覧です。

Sentbox 2/4 … 送信済みメールを保存

Trash 3/4 … 削除したメールを保存

Outbox 4/4 … 未送信メールを保存

(13) メールが送信できたかどうかを確認する（Outbox）

a) 方法その1

①受信メールのタイトル一覧で〔スペース〕＋〔F 3〕を1回押す。

→ 〈メールボックス：Inbox 1/4〉と表示。

②〔下スクロール〕または〔オルト〕を3回押す。 → 〈Outbox 4/4〉と表示。

③〔F 3〕を押す。

→ 一瞬〈メールリストを準備しています〉と表示され、〈Outbox〉（未送信メールのフォルダ）のタイトル一覧が表示される。ここで〈リストなし〉と表示されていれば、送信できたことになる。

→ 過去の未送信メール（編集集中のメール）がある場合はタイトル一覧が表示されるので、〔下スクロール〕または〔オルト〕、〔上スクロール〕または〔コントロール〕で送信したメールが無いことを確認する。

④〈Inbox〉に戻る場合、まず〔スペース〕＋〔F 3〕を1回押す。

⑤〔上スクロール〕または〔コントロール〕を3回押す。 → 〈Inbox 1/4〉と表示。

⑥〔F 3〕を押す。 → 受信メールのタイトル一覧に戻る。

★〈Inbox〉に戻る方法として、④で〔スペース〕＋〔マ（z）（1・3・5・6）〕を1回押して電子メールを終了し、再度電子メールを起動する方法もあります。

b) 方法その2

①受信メールのタイトル一覧で〔エンター〕＋〔キ（1・2・6）〕を1回押す。

→ 一瞬〈前のメールボックスに移動しています〉と表示され、〈Outbox〉のタイトル一覧が表示される。ここで〈リストなし〉と表示されていれば送信できたことになる。

→ 過去の未送信メール（編集集中のメール）がある場合はタイトル一覧が表示されるので、〔下スクロール〕または〔オルト〕、〔上スクロール〕または〔コントロール〕で送信したメールが無いことを確認する。

②〈Inbox〉に戻る場合、〔エンター〕＋〔ヨ（3・4・5）〕を1回押す。

→ 一瞬〈次のメールボックスに移動しています〉と表示され、受信メールのタイトル一覧に戻る。

★〈Inbox〉に戻る方法として、②で〔スペース〕＋〔マ（z）（1・3・5・6）〕を1回押

(14) 各メールボックスを確認する

a) 方法その 1

- ①受信メールのタイトル一覧で [スペース] + [F 3] を 1 回押す。
→ 〈メールボックス : Inbox 1/4〉と表示。
 - ② [下スクロール] または [オルト] を押し、〈Sentbox 2/4〉 〈Trash 3/4〉 〈Outbox 4/4〉のいずれかを表示させる。
 - ③ [F 3] を押す。
→ 一瞬〈メールリストを準備しています〉と表示され、各メールボックスのタイトル一覧が表示される。メールが無い場合は〈リストなし〉と表示。
 - ④ 〈Inbox〉に戻る場合は、まず [スペース] + [F 3] を 1 回押す。
 - ⑤ [上スクロール] または [コントロール] を押し、〈Inbox 1/4〉に移動。
 - ⑥ [F 3] を押す。 → 受信メールのタイトル一覧に戻る。
- ★ 〈Inbox〉に戻る方法として、④で [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を 1 回押して電子メールを終了し、再度電子メールを起動する方法もあります。

b) 方法その 2

- ①タイトル一覧で [エンター] + [ヨ (3・4・5)] を 1 回押す。
→ 一瞬〈次のメールボックスに移動しています〉と表示され、〈Sentbox〉のタイトル一覧が表示。メールが無い場合は〈リストなし〉と表示。
 - ②さらに [エンター] + [ヨ (3・4・5)] を 1 回押す。
→ 一瞬〈次のメールボックスに移動しています〉と表示され、〈Trash〉タイトル一覧、または〈リストなし〉と表示。
 - ③さらに [エンター] + [ヨ (3・4・5)] を 1 回押す。
→ 一瞬〈次のメールボックスに移動しています〉と表示され、〈Outbox〉タイトル一覧、または〈リストなし〉と表示。
 - ④さらに [エンター] + [ヨ (3・4・5)] を 1 回押す。
→ 一瞬〈次のメールボックスに移動しています〉と表示され、〈Inbox〉タイトル一覧に戻る。
- ★ [エンター] + [ヨ (3・4・5)] の逆順は [エンター] + [キ (1・2・6)] です。
- ★どのメールボックスからでも [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を 1 回押して電子メールを終了し、再度電子メールを起動することで〈Inbox〉に戻ることができます。

○補足

(13)や(14)の「b) 方法その 2」は、点字の触読が苦手な盲ろう者に向いています。[エンター] + [3・4・5 (ヨ)] を押す回数で、どのフォルダに移動できるか覚えておくとう便利です。

(15) メールを削除する

a) 1 件だけ削除する

- ① タイトル一覧で [コントロール] または [上スクロール]、[オルト] または [下スクロール] を押して、削除したいメールを表示させる。
- ② [スペース] + [ル (d) (1・4・5)] を押す。
 - 〈メールを削除しますか？はい〉と表示。
 - 削除を中止する場合は [下スクロール] を 1 回押し 〈いいえ〉を表示させる。
- ③ [エンター] を押す。

b) すべてのメールを削除する

- ① タイトル一覧で [エンター] + [ア (a) (1)] を押す。
 - 一瞬〈全て選択〉と表示され、タイトル一覧に戻る。すべてのメールのタイトルの前に点字に〈3・5 3・5〉が付与される（液晶ディスプレイには〈*〉が付与）。
 - ② [スペース] + [ル (d) (1・4・5)] を押す。
 - 〈5 メールを削除しますか？はい〉と表示。(注)
 - 削除を中止する場合は [下スクロール] を 1 回押し 〈いいえ〉を表示させる。
 - ③ [エンター] を押す。
- (注) 〈5 メール〉の〈5〉は、選択されたメールの数です。

c) 〈Trash〉フォルダについて

削除したメールは〈Trash〉に移動します。

〈Trash〉のフォルダを確認する方法は、前述の「(14) 各メールボックスを確認する」を参照してください。

d) 〈Trash〉フォルダを空にする

次のホットキーを押すことで〈Trash〉フォルダに保存されている全てのメールを一括削除することができます。このホットキーはわざわざ〈Trash〉のタイトル一覧に移動する必要がなく、どのメールボックスでも実行可能なので、覚えておくと便利です。

例：〈inbox〉のタイトル一覧を表示した状態で、このホットキーを押すと〈Trash〉の中が空になる。

[エンター] + [バックスペース] + [テ (q) (1・2・3・4・5)]

(16) アドレス帳を手動で登録する

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈オーガナイザ〉に移動する。
- ② [エンター] を押す。 → 〈アドレス帳〉と表示。
- ③ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈アドレス検索〉と表示され、続いて〈姓：〉と表示される。これでアドレス帳が開いている状態となる。ここでの〈姓：〉は検索フィールドなので、登録するには次に進む。
- ④ [エンター] + [オ (i) (2・4)] を押す。
→ 一瞬だけ〈アドレス追加〉と表示され、続いて〈(アカウント名)〉が表示。
- ⑤ [F 3] を押す。 → 〈姓：〉と表示。
- ⑥ 名前を入力する。
- ⑦ [下スクロール] または [オルト] を何度か押し、〈自宅・電子メール：〉に移動。行き過ぎた場合は [上スクロール] または [コントロール] で戻る。
★ [スペース] + [4・5・6] を押し、最下部の〈ホームページ〉へ一気に移動した後、[上スクロール] または [コントロール] を2回押し、〈自宅・電子メール：〉へ移動する方法もある。
- ⑧ メールアドレスを入力する。
- ⑨ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈レコード追加完了〉と表示され、続いて〈(アカウント名)〉が表示。
- ⑩ さらにアドレスを登録する場合は操作手順⑤から⑨を繰り返す。
- ⑪ アドレス帳を終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押す。
→ 〈バックアップを変更しますか。はい〉と表示される。
→ バックアップを中止する場合は [下スクロール] を1回押し〈いいえ〉に移動。
- ⑫ [エンター] を押す。
→ バックアップを変更した場合は、〈データをバックアップ中〉〈バックアップ完了〉と表示された後、〈アドレス帳〉に戻る。
- ⑬ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈オーガナイザ〉に戻る。

2 メールアカウントの設定

(1) アカウントマネージャーの開き方

a) 初期設定での開き方

- ① プログラムメニューの〈電子メール〉に移動。
- ② [エンター] を押す。
→ 一瞬〈ツールメニューのアカウントマネージャーでメールアカウントを設定してください。〉と表示され、〈アカウント名：リストがありません〉と表示される。
以降の操作は、次の「(2) メールアカウントの基本設定」を参照してください。

b) 設定後の開き方

- ① プログラムメニューの〈電子メール〉に移動。
 - ② [エンター] を押す。 → 受信メールのタイトル一覧が表示。
 - ③ [F 2] を押す。 → 〈ファイル プルダウン〉と表示。
★点字には〈ファイル →〉と表示。
 - ④ [下スクロール] または [オルト] を 2 回押す。 → 〈ツール プルダウン〉と表示。
★点字には〈ツール →〉と表示。
 - ⑤ [エンター] を押す。 → 〈アカウントマネージャー ダイアログボックス〉と表示。
★点字には〈アカウントマネージャー・・・〉と表示。
 - ⑥ [エンター] を押す。 → 〈アカウント名：(アカウント名)〉と表示。
- 追加設定をする場合は、次の「(2) メールアカウントの基本設定」を参照してください。
- ★③の操作の代わりに [エンター] + [又 (m) (1・3・4)] を押すことでアカウントマネージャーを開くこともできます。

(2) メールアカウントの基本設定

基本設定では、プロバイダーから提供される情報を入力することが主な作業となります。間違いのないよう、慎重に入力してください。

- ① アカウントマネージャーを開いた状態で [F 3] を 2 回押す。
→ 〈追加 ダイアログボックス〉と表示される。
 - ② [エンター] を押す。 → 〈使用するメールサーバー : IMAP〉と表示。
 - ③ [スペース] を押して 〈EXCHANGE(MS)〉 〈EXCHANGE(サーバー)〉 〈POP3〉 のいずれかを選ぶ。
★通常はスペースを 3 回押して 〈POP3〉 を選ぶ。
 - ④ 〈POP3〉 を選択後、[F 3] を押す。 → 〈サーバの種類 : 手動 1/3〉と表示。
 - ⑤ [上スクロール] または [コントロール]、[下スクロール] または [オルト] にて 〈Google〉 〈Outlook〉 等のアカウント情報を選ぶことが可能。これらのメールアドレスを利用する場合は、選択することで設定情報の入力の一部省略できる。
★通常は〈手動〉を選ぶ。
 - ⑥ 〈手動〉が表示されている状態で [F 3] を押す。 → 〈アカウント名 : 〉と表示。
 - ⑦ 「メール」「ヤフー」「ニフティー」等わかりやすいメールの名前を任意で入力する。
 - ⑧ [F 3] を押す。 → 〈ユーザ名〉と表示。
 - ⑨ ユーザ名を入力する。
★ユーザ名は、メールを送信した相手の差出人欄に表示される名前なので、「山田太郎」等なるべく日本語で入力すると盲ろう者にわかりやすい。
★正しく点字表示されているかどうか、必ず点字も確認すること。
 - ⑩ [F 3] を押す。 → 〈電子メールアドレス : 〉と表示。
 - ⑪ プロバイダーから提供されるメールアドレスを入力する。
 - ⑫ [F 3] を押す。 → 〈ログオンユーザ名 : 〉と表示。
 - ⑬ プロバイダーから提供されるユーザ ID (プロバイダーによっては「ユーザアカウント」「ユーザ名」など表記されることもある) を入力する。
 - ⑭ [F 3] を押す。 → 〈パスワード : 〉と表示。
 - ⑮ プロバイダーから提供されるパスワードを入力する。
★パスワードは、初期設定では伏せ字 (ふせじ) で表示される。〈オプション設定〉の〈パスワード表示〉をオンにしておくと、入力したパスワードの文字列を確認することができる。
 - ⑯ [F 3] を押す。 → 〈受信 POP3 サーバー : 〉と表示。
 - ⑰ プロバイダーから提供される POP サーバ名 (「受信メールサーバ名」等と表記されることもある) を入力する。
 - ⑱ [F 3] を押す。 → 〈SMTP サーバー : 〉と表示。
 - ⑲ プロバイダーから提供される SMTP サーバ名 (「送信メールサーバ名」等と表記されることもある) を入力する。
 - ⑳ [F 3] を押す。 → 〈詳細設定〉と表示。
- 以降の操作は、次の「(3) メールアカウントの詳細設定」を参照してください。

(3) メールアカウントの詳細設定

ここでは、メール送受信時の暗号化や、受信サーバーにメールを残すか削除するか等、さらに詳細な設定を行います。

- ①〈詳細設定〉が表示されている状態で[エンター]を押す。
→ 〈secure POP3(POP3-SSL)? いいえ〉と表示。
- ②SSL を利用するプロバイダーのメールアカウントを設定する場合は[スペース]を押して〈はい〉を選択する。
- ③[F 3]を押す。
→ 〈POP3 ポート番号 : 110〉または〈POP3 ポート番号 : 995〉と表示。
★②で〈いいえ〉を選択すると〈110〉、〈はい〉を選択すると〈995〉が表示。
- ④[F 3]を押す。 → 〈SMTP 暗号化方式 : ない〉と表示。
- ⑤プロバイダーの送信方式に従い[スペース]を押して〈ない〉〈SSL〉〈TLS〉のいずれかを選択。
★〈SSL〉あるいは〈TLS〉を選択することが多い。
- ⑥[F 3]を押す。
→ 〈SMTP ポート番号 : 465〉あるいは〈SMTP ポート番号 : 587〉と表示。
★⑤で〈SSL〉を選択すると〈465〉、〈TLS〉を選択すると〈587〉が表示。
- ⑦[F 3]押す。 → 〈SMTP ユーザ名 : 〉と表示。
- ⑧プロバイダーの設定に従い、必要であればSMTP ユーザ名を入力する。
★空欄で良い場合が多い。またはメールアドレスを入力する場合もある。
- ⑨[F 3]を押す。 → 〈SMTP パスワード : 〉と表示。
- ⑩プロバイダーの設定に従い、必要であればSMTP パスワードを入力する。
★空欄で良い場合が多い。またはメールアドレスのパスワードを入力する場合もある。
- ⑪[F 3]を押す。
→ 〈サーバーにメールのコピーを残しますか? はい〉と表示。
- ⑫サーバーにメールを残す場合はそのまま、残さない場合は[下スクロール]または[オルト]、[上スクロール]または[コントロール]〈いいえ〉にする。
★通常は〈いいえ〉に設定にすることが多い。
- ⑬[スペース]を押して〈はい〉にする。
- ⑭[F 3]を押す。 → 〈Sentbox にメールを保存する : はい〉と表示。
- ⑮保存する場合はそのまま、保存しない場合は[下スクロール]または[オルト]、[上スクロール]または[コントロール]を押して〈いいえ〉にする。
- ⑯[F 3]を3回押す。 → 〈確認〉と表示。
- ⑰[エンター]を押す。 → 〈詳細設定〉と表示。
- ⑱[F 3]を1回押す。 → 〈確認〉と表示。
- ⑲[エンター]を押して設定を完了する。
→ 一瞬〈アカウントの確認中…〉 〈アカウント追加完了〉と表示され〈アカウント名 : (設定したアカウント名)〉と表示される。
- ⑳最後に[F 3]を何度か押し〈閉じる〉へ移動、[エンター]を押してアカウントマネージャーを閉じる。
- ㉑[F 3]を2回押し、受信メールのタイトル一覧に戻る。

★⑳では $[F_4]$ あるいは $[\text{スペース}] + [\text{マ}(z)(1 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 6)]$ でも閉じることができる。

3 タイトル一覧の表示変更

ブレイルセンス U2 以前の「旧センスシリーズ」ではメールの一覧にタイトルのみが表示されていました。旧センスシリーズに慣れている盲ろう者で表示が多く読みにくい場合は、旧センスシリーズに近い表示形式に変更することができます。

また、シックスで初めてブレイルセンスを使う盲ろう者にとっても、変更することで使いやすくなります。

- ①タイトル一覧で [エンター] + [タ (o) (1・3・5)] を押す。
→ 〈使用するメールサーバー：(アカウント名)〉と表示される。
- ② [F 3] を 5 回押す。→ 〈1st メールヘッダ：タイトル 1/4〉と表示。
- ③ 〈1st メールヘッダ：タイトル〉と表示されていることを確認する。
→ 〈タイトル〉以外のものが選択されていたら、[上スクロール] または [コントロール]、
[下スクロール] または [オルト] を押して 〈タイトル〉 を選択する。
- ④ [F 3] を押す。→ 〈2nd メールヘッダ：差出人 1/4〉と表示。
- ⑤ [下スクロール] または [オルト] を押して 〈オフ〉 を選択する。
- ⑥ [F 3] を押す。→ 〈3rd メールヘッダ：日付 1/3〉と表示。
- ⑦ [下スクロール] または [オルト] を押して 〈オフ〉 を選択する。
- ⑧ [F 3] を押す。→ 〈4th メールヘッダ：宛先 2/3〉と表示。
- ⑨ [下スクロール] または [オルト] を押して 〈オフ〉 を選択する。
- ⑩ [F 3] を 3 回押す。→ 〈確認〉と表示。
- ⑪ [エンター] を押す。→ 一瞬〈保存完了〉と表示されタイトル一覧に戻る。
- ⑫タイトルの表示がタイトルのみが変わっていることを確認する。
★この状態で差出人や日付を確認するには [エンター] で本文を表示し、[F 3] を押すことで確認できます。前述の「1 電子メールの基本操作」の「(7) 差出人を確認する」「(8) 送信日時を確認する」を参照してください。

4 送信日時の表示変更

送信日時は、初期設定では〈月・日・年・時間・午前 or 午後〉の順番で表示されます。プログラムメニュー（注）の〈設定〉の中の〈時計設定〉で、日付の表示を〈長い〉に、また時間表記を〈24 時間表記〉に変更することで、以下のように送信日時の表示を変更することができます。

例）2024 年 12 月 15 日（日）午後 6 時 35 分の場合

設定	実際の表示
12 時間表記、日付表示短い（初期設定）	2024/12/15/日 午後 06:35
24 時間表記、日付表示短い	2024/12/15/日 18:35
12 時間表記、日付表示長い	2024 年 12 月 15 日 日曜日 午後 06:35
24 時間表記、日付表示長い	2024 年 12 月 15 日 日曜日 18:35

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [エンター] を押す。 → 〈タイムゾーン：東京 JST〉と表示。
- ④ [F 3] を 1 回押す。
→ 〈時間制：12 時間表記 1/2〉と表示されるので、上の例を参照しながら [スペース] を押して〈12 時間表記〉か〈24 時間表記〉を選ぶ。
- ⑤ [F 3] を 1 回押す。 → 〈時刻：（時間）〉と表示されるので、時刻表示を確認する。
- ⑥ [F 3] を 1 回押す。
→ 〈日付の表示形式：短い 1/2〉と表示されるので、上の例を参照しながら [スペース] を押して〈短い〉か〈長い〉を選ぶ。
- ⑦ [F 3] を 1 回押す。 → 〈日付：（日付）〉と表示されるので、日付表示を確認する。
- ⑧ [F 3] を 2 回押す。 → 〈確認〉と表示。
- ⑨ [エンター] を押す。 → 一瞬〈設定完了〉と表示され、〈時計設定〉に戻る。
- ⑩ [F 4] または [スペース] + [マ（z）（1・3・5・6）] を押し、〈設定〉に戻る。

5 電子メールのメニュー操作

ブレイルセンスは本マニュアルでご紹介しているホットキーによる操作のほか、[F 2] を押すことで各アプリケーションのメニューを開き、メニュー一覧から操作を実行することが可能です。ホットキーを忘れてしまった場合などに便利です。

ここでは電子メールのメニューの一部を紹介します。

(1) メニューの参照方法

- ①〈電子メール〉を起動する。 → タイトル一覧が表示。
- ②[F 2] を1回押す。 → 電子メールのメニューである〈ファイル〉が表示。
- ③[下スクロール] または[オルト] を押しメニューを選ぶ。
★メニューには〈ファイル〉〈編集〉〈ツール〉〈メッセージ〉がある。
- ④[エンター] を押しサブメニューを開く。
→ 各サブメニューにホットキーの表示あり。
★ホットキーの表示は〈設定〉の〈オプション設定〉の〈ホットキー情報〉で変更可能。
サブメニューにホットキーの表示がない場合は〈ホットキー情報〉が〈オフ〉になっている。
- ⑤サブメニューを実行、または設定画面を開くには[エンター] を押す。
- ⑥設定画面を閉じる場合は[F 4] を押し、サブメニューに戻る。
- ⑦サブメニューで[F 4] を押し、メニューに戻る。
- ⑧メニューで[F 4] を押し、タイトル一覧に戻る。
★メニューの表示は実行中のプログラムによって異なります。

(2) メニュー、サブメニュー、ホットキー一覧

以下は、電子メールの代表的なメニューとサブメニューとホットキーの一覧です。

a) Inbox 選択時

受信メールのタイトル一覧を表示している状態で[F 2] を押したメニューです。

ファイル	
メール作成	[エンター] + [ソ (w) (2・4・5・6)]
EML インポート	[バックスペース] + [オ (i) (2・4)]
EML のエクスポート	[バックスペース] + [ラ (e) (1・5)]
テキストで保存	[スペース] + [ノ (s) (2・3・4)]
添付ファイルを保存	[バックスペース] + [エ (f) (1・2・4)]
メール印刷	[スペース] + [ネ (p) (1・2・3・4)]
メールを別アカウントへ保存	[バックスペース] + [エンター] + [ノ (s) (2・3・4)]
閉じる	[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)]
編集	
Trash を空にする	[バックスペース] + [エンター] + [テ (q) (1・2・3・4・5)]

すべて選択 [エンター] + [ア (a) (1)]
選択開始 [エンター] + [イ (b) (1・2)]
コピー [エンター] + [ウ (c) (1・3)]
切り取り [エンター] + [フ (x) (1・3・4・6)]
フラグ [バックスペース] + [エンター] + [エ (f) (1・2・4)]
貼り付け [エンター] + [ヒ (v) (1・2・3・6)]
削除 [スペース] + [ル (d) (1・4・5)]
完全に削除 [バックスペース] + [ル (d) (1・4・5)]
文字列検索 [スペース] + [エ (f) (1・2・4)]
メールボックスへ移動 [バックスペース] + [フ (x) (1・3・4・6)]
メールボックスにコピー [バックスペース] + [ウ (c) (1・3)]

ツール

アカウントマネージャー [エンター] + [ヌ (m) (1・3・4)]
メールボックス設定 [エンター] + [ト (t) (2・3・4・5)]
オプション設定 [エンター] + [タ (o) (1・3・5)]
迷惑メール設定 [エンター] + [ラ (e) (1・5)]

メッセージ

返信 [エンター] + [チ (r) (1・2・3・5)]
全員に返信 [バックスペース] + [チ (r) (1・2・3・5)]
転送 [エンター] + [エ (f) (1・2・4)]
添付ファイルとして転送 [バックスペース] + [ソ (w) (2・4・5・6)]
メールをブラウザで開く [バックスペース] + [タ (o) (1・3・5)]
新着メール受信 [エンター] + [ツ (n) (1・3・4・5)]
未読メッセージ [エンター] + [ハ (u) (1・3・6)]
アドレス保存 [エンター] + [オ (i) (2・4)]

b) メール作成時

メールを作成している時に [F 2] を押した時のメニューです。

ファイル

ファイル添付 [エンター] + [エ (f) (1・2・4)]
送信 [エンター] + [ノ (s) (2・4)]
Outbox に保存 [バックスペース] + [ノ (s) (2・4)]
アドレス検索
[エンター] + [ニ (l) (1・2・3)] (宛先、Cc、Bcc 選択時以外は無効)

編集

すべて選択 [エンター] + [ア (a) (1)]
選択開始 [エンター] + [イ (b) (1・2)]
コピー [エンター] + [ウ (c) (1・3)]
切り取り [エンター] + [フ (x) (1・3・4・6)]
貼り付け [エンター] + [ヒ (v) (1・2・3・6)]
削除 [スペース] + [ル (d) (1・4・5)]

第 4 部

クイックブラウザ

- 1 クイックブラウザの基本操作
- 2 クイックブラウザで Yahoo!天気を閲覧する
- 3 クイックブラウザとウェブブラウザの操作の違いについて

1 クイックブラウザの基本操作

Web ページを閲覧するためのアプリケーションを総称して「ブラウザ」と呼びます。プレイルセンスには 2 種類のブラウザがプレインストールされています。ひとつはプログラムメニューの〈プログラム〉の中にある〈クイックブラウザ〉、もうひとつは〈ウェブツール〉の中にある〈ウェブブラウザ〉です。多くの盲ろう者は前者の〈クイックブラウザ〉を使っています。

ただし、フェイスブックやネットバンキングなどログインが必要な Web ページは、〈クイックブラウザ〉でアクセスできないことがあります。その場合は〈ウェブブラウザ〉を利用することが多いです。

本マニュアルでは〈クイックブラウザ〉での閲覧方法を紹介します。

(1) クイックブラウザの起動と終了

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈プログラム〉を表示させる。
- ② [エンター] を押す。 → 〈BES エディタ〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] を押し、〈クイックブラウザ〉を表示させる。
- ④ [エンター] を押し〈クイックブラウザ〉を起動する。
→ ホームとして登録してあるページが表示。
- ⑤ クイックブラウザを終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を 1 回押し、〈クイックブラウザ〉の表示に戻る。
- ⑥ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を 1 回押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(2) ページを閲覧する時の基本操作

文章を読む

文章の後方（続き）を表示 … [下スクロール]

文章の前方（戻る）を表示 … [上スクロール]

行の移動

次の行に移動 … [オルト]

前の行に移動 … [コントロール]

見出しを探す

次の見出しへ移動 … 点字キーの [4] のキー

前の見出しへ移動 … 点字キーの [1] のキー

リンクを探す

次のリンクへ移動 … 点字キーの [5] のキー

前のリンクへ移動 … 点字キーの [2] のキー

文字を入力したり、チェックを入れたりする箇所を探す

次のフォーム入力へ移動 … [F 3]

前のフォーム入力へ移動 … [スペース] + [F 3]

ページ内の単語を探す

文字列検索 … [スペース] + [エ (f) (1・2・4)]

再検索 … [エンター] + [エ (f) (1・2・4)]

閲覧済みのページに移動する

前のページに戻る … [バックスペース] + [ネ (p) (1・2・3・4)]

次のページに進む … [バックスペース] + [ツ (n) (1・3・4・5)]

ホーム（クイックブラウザを起動した時の最初のページ）に移動する

… [バックスペース] + [リ (h) (1・2・5)]

○補足

「見出し」とはページ内の項目名のようなイメージです。見出しに移動してから [下スクロール] で読み進めると、いち早く読みたい内容にたどり着くことができます。

(3) Yahoo を使って検索する

クイックブラウザを起動した時の最初のページ（ホーム）は、初期設定は有限会社エクストラのホームページとなっています。

★Yahoo のページをホームとして登録する方法は、後述の「(6) URL を入力して開く」や「(7) ホームを登録する」を参照してください。

★Yahoo のページをお気に入り登録したり、お気に入りから開く方法は、後述の「(4) お気に入り登録する」や「(5) お気に入りリストから開く」を参照してください。

- ①〈クイックブラウザ〉を起動する。
 - Yahoo がホームに登録されている場合は〈Yahoo! Japan〉と表示。
 - またはお気に入りから Yahoo! Japan のページを開く。
- ②〈Yahoo! Japan〉と表示された状態で [F 3] を 1 回押す。
 - 〈検索テキスト〉と表示。
- ③検索したいワードを入力する。
- ④ [F 3] を 1 回押す。 → 〈送信〉と表示。
- ⑤ [エンター] を押す。 → 検索結果のページが表示される。
- ⑥点字キー [5] を 21 回押す。
 - 関連キーワードあるいは検索結果 1 番目のリンクを表示。

★表示内容が異なる場合もある。
- ⑦点字キー [5] を何度か押し、読みたいページのリンクに移動する。
- ⑧ [エンター] を押す。 → ページが表示される。
- ⑨点字キー [4] や、[下スクロール] を押して閲覧する。
- ⑩〈クイックブラウザ〉を終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押し、〈クイックブラウザ〉に戻る。

(4) お気に入り登録する

- ①〈クイックブラウザ〉を起動する。
- ②Yahoo 等で検索して、お気に入り登録したいページを表示させる。
- ③ [バックスペース] + [ア (a) (1)] を押す。
 - 一瞬だけ〈お気に入り追加〉と表示され、〈ファイル名 : (ページのタイトル)〉と表示される。

★ここで好きなファイル名に編集することができる。編集する場合は [バックスペース] で既存のファイル名をすべて削除してから好きなファイル名を入力する。
- ④ [エンター] を押す。
 - 一瞬だけ〈登録しました〉と表示され、元のページに戻る。

(5) お気に入りリストから開く

- ①〈クイックブラウザ〉を起動する。
- ② [エンター] + [ニ (1) (1・2・3)] を押す。
 - 一瞬〈お気に入りリストダイアログボックス〉と表示され、〈お気に入りリスト〉が表

示。

③ [オルト] を押して閲覧したいページのタイトルに移動する。

★前のタイトルに戻りたい時は [コントロール] を押す。

★タイトルが長く点字に表示しきれない部分は [下スクロール] を押して読む。

④ [エンター] を押す。 → 選択したタイトルのページが表示される。

(6) URL を入力して開く

① 〈クイックブラウザ〉を起動する。

② [エンター] + [ハ (u) (1・3・6)] を押す。

→ 一瞬だけ〈URL 入力 ダイアログボックス〉と表示され、〈URL : (URL の文字列)〉と表示。

③空欄になるまで [バックスペース] を押し削除する。

→ 点字〈7・8〉(カーソル) だけが表示される。

④アクセスしたい Web ページの URL を入力する。例) <https://www.yahoo.co.jp/>

⑤ [エンター] を押す。 → Web ページが表示される。

○補足

URL は、〈設定〉の〈オプション設定〉の〈コンピュータ点字〉の設定に基づいて入力してください。以下は〈日本語情報処理〉に設定している場合の入力例です。

★コンピュータ点字の設定方法は、「第 8 部 オプション設定」を参照。

: (コロン) … 点字キー [5] を押してから、[2] を押す

/ (スラッシュ) … [3・4 (ヤ)]

. (ピリオド) … [2・5・6 (句点)]

- (マイナス) … [3・6 (つなぎ符)]

_ (アンダーバー) … 点字キー [5] を押してから、[3・6 (つなぎ符)] を押す

(7) ホームを登録する

クイックブラウザを起動した時に最初に表示されるページを〈ホーム〉と呼びます。検索に使うページや、よく閲覧するページをホームとして登録しておく便利です。

① 〈クイックブラウザ〉を起動する。

②(3)から(6)の操作方法を参考に、ホームに登録したいページを表示させる。

③ [エンター] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。

→ 〈ホームとして登録しますか? はい〉と表示。

④ [エンター] を押す。

→ 一瞬だけ〈登録しました〉と表示され、元のホームページに戻る。

○補足

他の Web ページを閲覧している時に [バックスペース] + [リ (h) (1・2・5)] を押すと、ホームのページに戻ることができます。

2 クイックブラウザで Yahoo!天気を閲覧する

あらかじめ〈クイックブラウザ〉のホームに、「Yahoo! 天気・災害」の「東京（東京）のページ」（<https://weather.yahoo.co.jp/weather/jp/13/4410.html>）を登録しているものとして操作手順を示します。お気に入りに登録している場合は、お気に入りから開く必要があります。

★お気に入りの操作方法は前述の「1 クイックブラウザの基本操作」の「(4) お気に入りに登録する」や「(5) お気に入りリストから開く」を参照してください。

① 〈クイックブラウザ〉を起動する。 → 〈東京（東京）の天気〉と表示。

② 点字キー〔4〕を1回押す。 → 〈今日明日の天気〉と表示。

③ 〔下スクロール〕を押す。

→ 発表日時、当日の日にち、天気、最高気温[前日比]・最低気温[前日比]、時間帯、降水確率、風、波の順番で表示される。

④ 続けて〔下スクロール〕を押す。

→ 明日の日にち、天気、最高気温[前日比]・最低気温[前日比]、時間帯、降水確率、風、波の順番で表示される。

○補足

〈明日の天気〉からさらに点字キー〔4〕を押して〈週間天気〉に移動し、〔下スクロール〕を押すことで向こう一週間の天気を確認することができます。週間天気の場合は発表日時のあとに日付、天気、気温、降水確率の順で一週間先まで表示されます。

点字キー〔4〕を押す回数はページによって異なる場合があります。指導する前に「Yahoo! 天気・災害」を開き、〔4〕を1回押すごとに見出しを確認し、押す回数を調べるようにしてください。

3 クイックブラウザとウェブブラウザの操作の違いについて

Web ページを閲覧する時の移動コマンドが、ウェブブラウザとクイックブラウザとでは異なります。

しかしお気に入りの登録方法などはクイックブラウザとほとんど変わりません。

以下はクイックブラウザとウェブブラウザでは異なる操作キーです。

	クイックブラウザ	ウェブブラウザ
次の見出しへ移動	点字キー [4]	[バックスペース] + [エ (f)] (1・2・4)]
前の見出しへ移動	点字キー [1]	[バックスペース] + [イ (b)] (1・2)]
次のリンクへ移動	点字キー [5]	[F 3]
前のリンクへ移動	点字キー [2]	[スペース] + [F 3]

★ウェブブラウザの移動コマンドはクイックブラウザでも使用できます。

第 5 部

サピエの基本操作

(1) サピエとは

サピエとは、点字図書データや録音図書データなどを所蔵する全国最大の視覚障害者等向け書誌データベースです。サピエ図書館とも呼びます。

視覚障害者なら誰でも会員になることができ、自宅で気軽に図書データをダウンロードし読書を楽しむことができます。ここではサピエアプリによる点字図書データのダウンロード方法と、ダウンロードした点字図書を読む方法を記します。

(2) サピエの起動、ログイン、終了

初めてログインする時は、サピエ ID とパスワードを入力します。サピエ ID とパスワードは、点字図書館等であらかじめ取得しておく必要があります。

- ① プログラムメニューの〈プログラム〉を表示させる。
- ② [エンター] を押す。 → 〈BES エディタ〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] を押し、〈サピエ〉と表示。
- ④ [エンター] を押し〈サピエ〉を起動する。 → 〈サピエ ID〉と表示。
- ⑤ サピエ ID を入力する。
- ⑥ [F 3] を 1 回押す。 → 〈パスワード〉と表示。
- ⑦ パスワードを入力する。
- ⑧ [F 3] を 1 回押す。 → 〈ログイン〉と表示。
- ⑨ [エンター] を押す。
→ しばらくすると〈点字データ検索〉と表示され、ログインできたことになる。
- ⑩ サピエを終了する時は、[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を何回か押し〈サピエ〉に戻る。
- ⑪ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(3) 点字図書をダウンロードする

- ① 〈サピエ〉を起動する。 → 〈サピエ ID: (サピエ ID)〉と表示。
- ② [エンター] を押す。 → しばらくすると〈点字データ検索〉と表示。
- ③ [エンター] を押す。 → 〈点字データ新着案内 (1 週間以内)〉と表示。
- ④ [F 3] を 1 回押す。 → 〈タイトル〉と表示。
- ⑤ 探したい本のタイトル名をひらがな、または漢字等で入力する。
→ 著者の名前だけで検索したい場合は、空欄のまま⑥の操作に進む。
- ⑥ [F 3] を押す。 → 〈著者〉と表示。
- ⑦ 探したい本の著者名をひらがな、または漢字等で入力する。
→ 著者名を入力しない場合は、空欄のまま⑧の操作に進む。
- ⑧ [エンター] を押す。
→ 検索開始され、該当の本があればすぐにそのタイトルが表示される。
- ⑨ 複数のタイトルがある場合は [下スクロール] または [オルト] を押して希望のタイトルに移動する。
- ⑩ [エンター] を押す。
→ 〈ダウンロードしますか? はい〉と表示。
→ ダウンロードを中止する場合は [下スクロール] または [オルト] で〈いいえ〉を表示。
- ⑪ [エンター] を押す。
→ 一瞬〈ダウンロードしました〉〈解凍しました〉と表示され、〈ダウンロード〉と表示。
- ⑫ 続けて他の図書を検索、ダウンロードしたい時は、[スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を 1 回押し、点字データ検索画面に戻る。
- ⑬ 操作手順④から⑪を繰り返す。
★すでに入力されているタイトル名や著者名は [バックスペース] で削除し、再度入力する。
- ⑭ サピエを終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を数回押し 〈サピエ〉に戻る。
- ⑮ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(4) 点字図書を読む

- ① プログラムメニューの〈ファイル管理〉を表示させる。
- ② [エンター] を押す。 → 〈flashdisk 1/4〉と表示。
- ③ [エンター] を押す。 → 〈Audiobooks フォルダ 1/14〉などフォルダ名が表示。
★点字には〈Audiobooks 1/14〉と表示。このように、点字には〈フォルダ〉は表示されない。これ以降に記すフォルダ名も同様。
- ④ [下スクロール] または [オルト] を押し、〈Download フォルダ 5/14〉を表示させる。
- ⑤ [エンター] を押す。 → 〈sapie フォルダ 1/1〉と表示。
★他のフォルダが表示された場合は [下スクロール] または [オルト] で〈sapie〉に移動する。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 〈点字データ フォルダ 1/1〉と表示。
- ⑦ [エンター] を押す。 → 〈(本のタイトル) (番号) フォルダ〉と表示。
- ⑧ [下スクロール] または [オルト] を押し、読みたいタイトルのフォルダに移動。
- ⑨ [エンター] を押す。 → フォルダ内のテキストファイル〈detail.txt〉が表示。
- ⑩ [下スクロール] または [オルト] を押し、N から始まる点字図書ファイルに移動。
- ⑪ [エンター] を押す。
→ 一瞬〈読み込んでいます〉などと表示され、ノートパッドが起動し、選択した点字図書ファイルが開く。
- ⑫ [下スクロール] を押し、点字図書を読む。
- ⑬ 点字図書を閉じる時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を1回押す。
→ ノートパッドが終了し、N から始まる点字図書ファイルの一覧に戻る。
→ 〈(ファイル名) 保存? はい〉と表示された場合は [下スクロール] または [オルト] を押して〈いいえ〉に変更し [エンター] を押す。
- ⑭ 同一タイトルの他の点字図書ファイルを読みたい場合は、N から始まる点字図書ファイル一覧で [下スクロール] または [オルト] や [上スクロール] または [コントロール] を押して、⑩から⑬を繰り返す。
- ⑮ 別のタイトルの点字図書ファイルを読みたい場合は、⑬の後 [バックスペース] を1回押す。
→ 〈(本のタイトル) (番号) フォルダ〉と表示されるので、[下スクロール] または [オルト]、[上スクロール] または [コントロール] を押して、読みたいタイトルに移動し、⑦から⑭を繰り返す。
- ⑯ 読書を終了する場合は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を何度か押し、プログラムメニューの〈ファイル管理〉に戻る。

○補足

点字図書データのファイル名は、ファイル名の最後の3桁の数字が巻数を表しています。第1巻は〈001〉、第2巻は〈002〉と表示されますので、点字図書データのファイルを探す時、それを手掛かりにします。

第 6 部

乗り換え検索の基本操作

(1) 乗り換え検索の基本操作

次の操作手順にある日時は任意です。ここでは例として 2025 年 12 月 6 日の 12 時 10 分を挙げています。

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈プログラム〉を表示させる。
- ② [エンター] を押す。 → 〈BES エディタ〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] を押し、〈乗り換え検索〉を表示させる。
- ④ [エンター] を押し〈乗り換え検索〉を起動する。
→ ネットワークに接続し〈出発〉と表示。
- ⑤ 乗車する駅名を入力する。
★基本的にひらがなで入力するが、ごくまれに漢字にした方が良い場合もある。
- ⑥ [F 3] を押す。 → 〈到着〉と表示。
- ⑦ 下車する駅名を入力する。
- ⑧ [F 3] を押す。 → 〈2025 年〉と表示。
★2025 年を選択したい時は [下スクロール] を押して変更する。前の月に戻りたい時は [上スクロール] を押す。
- ⑨ [F 3] を押す。 → 〈12 月〉と表示。
★1 月を選択したい時は [下スクロール] を押して変更する。前の月に戻りたい時は [上スクロール] を押す。
- ⑩ [F 3] を押す。 → 〈日 6 日〉と表示。
★1~31 の数字が選択できるので [上スクロール] または [下スクロール] を押し変更する。
- ⑪ [F 3] を押す。 → 〈時 12〉と表示。
★0~23 の数字が選択できるので [上スクロール] または [下スクロール] を押し変更する。
- ⑫ [F 3] を押す。 → 〈分 1〉と表示。
★分の 10 の位の設定を行う。0~5 の数字が選択できるので [上スクロール] または [下スクロール] を押し変更する。
- ⑬ [F 3] を押す。 → 〈0〉と表示。
★分の 1 の位の設定を行う。0~9 の数字が選択できるので [上スクロール] または [下スクロール] を押し変更する。
- ⑭ [F 3] を押す。 → 〈出発〉と表示。
★選択項目は〈出発〉〈到着〉〈始発〉〈終電〉の 4 つがある。⑫までに設定した日時を出発時間とするのか到着時間とするのか、または始発時刻や終電時刻を調べたいのかを選択する。選択する方法は [スペース] を押す。
- ⑮ [F 3] を押す。 → 〈IC カード利用〉と表示。
★選択項目は〈IC カード利用〉と〈切符利用〉の 2 つがある。どちらかの料金が調べられる。選択する方法は [スペース] を押す。
- ⑯ [F 3] を押す。 → 〈検索〉と表示。
- ⑰ [エンター] を押す。
→ 駅名の候補選択の画面に切り替わり、出発の〈駅名〉が表示される。

★駅名の候補が複数あった場合は〔下スクロール〕や〔上スクロール〕を押して、目的の駅名を表示させる。

⑱〔F 3〕を押す。 → 到着の〈駅名〉が表示。

★駅名の候補が複数あった場合は〔下スクロール〕や〔上スクロール〕を押して、目的の駅名を表示させる。

⑲駅名の確認ができたなら〔エンター〕を押す。

→ 検索が始まり〈第 1 経路 …〉と表示される。

⑳〔下スクロール〕で第 1 経路の概略を読む。

㉑〔下スクロール〕または〔オルト〕を押して第 2 経路に移動し、〔下スクロール〕を押して概略を読む。

★検索結果は第 1 経路から第 3 経路まで一覧になっている。各経路の文頭を表示させる場合は〔オルト〕または〔コントロール〕が便利。

㉒希望の経路があったら〔エンター〕を押す。

㉓経路の詳細が表示されるので〔下スクロール〕で読み進める。

㉔他の経路を読むときは〔F 4〕を押す。 → 検索結果一覧に戻る。

★㉑から㉓の手順で他の経路の詳細を読む。

㉕最初から検索するときは〔F 4〕を 1 回または 2 回押す。

㉖〈検索〉と表示されるので、〔F 3〕を 2 回押し〈出発〉を表示させ、㉑から行う。

㉗乗り換え検索を終了する場合は〔スペース〕+〔マ (z) (1・3・5・6)〕を 1 回または数回押し、〈乗り換え検索〉の表示に戻る。

㉘〔スペース〕+〔マ (z) (1・3・5・6)〕か〔F 4〕を 1 回押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

○補足

⑥から⑱で〔F 3〕を押すと次の設定項目に移動しますが、ひとつ前の設定項目に戻りたい時は〔スペース〕+〔F 3〕を押します。

第 7 部

簡単スケジューラーの基本操作

(1) 簡単スケジューラーの特徴

〈簡単スケジューラー〉はスケジュール管理ができるアプリケーションです。登録した予定はテキストデータとして保存されます。

(2) 簡単スケジューラーの起動と終了

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈プログラム〉を表示させる。
- ② [エンター] を押す。 → 〈BES エディタ〉と表示。
- ③ [下スクロール] を押し〈簡単スケジューラー〉を表示させる。
- ④ [エンター] を押し〈簡単スケジューラー〉を起動する。
→ 〈今日の予定：予定なし〉と表示。すでに予定を入力している場合は [下スクロール] を押して予定の内容が確認できる。
- ⑤ 簡単スケジューラーを終了する時は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を1回押し、〈簡単スケジューラー〉の表示に戻る。
- ⑥ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] か [F 4] を1回押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(3) 日付けの選択方法

- | | | |
|---------------------|---|-------------------------------|
| 現在の日にちから次の日にちの移動 | … | [オルト] |
| 現在の日にちから前の日にちの移動 | … | [コントロール] |
| | | |
| 現在の日にちから1週間後の日にちの移動 | … | [ソ (w) (2・4・5・6)] |
| 現在の日にちから1週間前の日にちの移動 | … | [バックスペース] + [ソ (w) (2・4・5・6)] |
| | | |
| 現在の日にちから1ヶ月後の日にちの移動 | … | [ヌ (m) (1・3・4)] |
| 現在の日にちから1ヶ月前の日にちの移動 | … | [バックスペース] + [ヌ (m) (1・3・4)] |
| | | |
| 予定入りの日にち先頭へ | … | [スペース] + [1・2・3] |
| 予定入りの日にち最後へ | … | [スペース] + [4・5・6] |
| | | |
| 現在の日にちの週先頭へ | … | [リ (h) (1・2・5)] |
| 現在の日にちの月先頭へ | … | [エ (f) (1・2・4)] |

(4) 予定を入力する

〈カレンダー表示〉の状態で行います。

★〈カレンダー表示〉については後述の「(8) 表示の切り替え (ビュー切り替え)」を参照ください。

- ① 〈簡単スケジューラー〉を起動する。
 - ②(3)の要領で予定を入りたい日にちを選択する。
 - ③ [エンター] を押す。 → 〈予定の編集〉と表示。
 - ④ 予定を入力する。
 - ⑤ 予定を入力したら [エンター] を押す。
→ 日にちの表示の前に点字〈メ (1・2・3・4・5・6)〉が付与される (液晶ディスプレイには〈*〉が付与)。
 - ⑥ 入力した予定を確認する。予定の文章が長い場合やシックスミニの場合は [下スクロール] を押して確認する。
 - ⑦ 簡単スケジューラーを終了する場合は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押す。
→ 〈変更を保存しますか? はい〉と表示。
→ 保存したくない場合は [下スクロール] を押して〈いいえ〉を表示。
 - ⑧ [エンター] を押す。
→ ⑦で〈はい〉を選択した場合は、予定が保存され〈簡単スケジューラー〉に戻る。
 - ⑨ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。
- ★ 予定を入れていない場合は、⑦を実行すると〈簡単スケジューラー〉に戻ります。

(5) 予定の内容を確認する

- ① 〈簡単スケジューラー〉を起動する。
 - ②(3)の要領で予定を確認したい日にちを選択する。
 - ③ [下スクロール] を押して予定の内容を確認する。
- ★ [F 3] を押すことで予定の内容を確認することもできます。

(6) 予定を修正する

- ① 〈簡単スケジューラー〉を起動する。
- ②(3)の要領で予定を修正したい日にちを選択する。
- ③ [エンター] を押す。 → 〈予定の編集〉と表示。
- ④ [バックスペース] を押して登録済みの予定を削除する。
- ⑤改めて予定を入力する。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 日にちに戻る。
- ⑦修正した予定を確認する。予定が点字に表示しきれない場合は [下スクロール] を押して確認する。
- ⑧簡単スケジューラーを終了する場合は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押す。
→ 〈変更を保存しますか？はい〉と表示。
→ 保存したくない場合は [下スクロール] を押して〈いいえ〉を表示。
- ⑨ [エンター] を押す。
→ ⑧で〈はい〉を選択した場合は、予定が保存され〈簡単スケジューラー〉に戻る。
- ⑩ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(7) 予定を削除する

- ① 〈簡単スケジューラー〉を起動する。
- ②(3)の要領で予定を削除したい日にちを選択する。
- ③ [F 3] を1回押して〈個別の予定：〉に移動。
- ④削除したい予定を確認する。予定が点字に表示しきれない場合は [下スクロール] を押して確認する。
- ⑤ [スペース] + [ル (d) (1・4・5)] を押す。
→ 〈(予定の内容)を削除しますか？ はい〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 予定が削除される。
- ⑦簡単スケジューラーを終了する場合は [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押す。
→ 〈変更を保存しますか？はい〉と表示。
→ 保存したくない場合は [下スクロール] を押して〈いいえ〉を表示。
- ⑧ [エンター] を押す。
→ ⑦で〈はい〉を選択した場合は、予定が保存され〈簡単スケジューラー〉に戻る。
- ⑨ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押し、プログラムメニューの〈プログラム〉に戻る。

(8) 表示を切り替える（ビュー切り替え）

通常が表示は〈カレンダー表示〉になっていますが、予定がある日にちのみに絞って一覧表示させる〈予定のみ表示〉に切り替え、予定を確認することもできます。

表示の切り替え方 … [スペース] + [ヒ (v) (1・2・3・4)]

★ [スペース] + [ヒ (v) (1・2・3・4)] を押すたびに〈カレンダー表示〉と〈予定のみ表示〉に切り替わります。

★ 〈予定のみ表示〉では[オルト]または[コントロール]で日にちを選択し、[下スクロール]で予定を確認できます。

第 8 部

オプション設定

(1) オプション設定の開き方

a) メニューから開く方法

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈設定〉に移動。
行き過ぎた場合は [上スクロール] または [コントロール] で戻る。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] を押し〈オプション設定〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。
→ 〈点字表示 オン〉と表示。これでオプション設定が開いたことになる。

b) ホットキーで開く方法

次のホットキーで、どのプログラムやメニューからでもオプション設定を開くことができます。

- [スペース] + [タ (o) (1・3・5)]
→ 〈点字表示 オン〉と表示。これでオプション設定が開いたことになる。

(2) オプション設定の基本操作

- ① 〈オプション設定〉の各設定を変更する場合は、[スペース] または [バックスペース] を押す。
★この時 [エンター] は押さない。もし [エンター] 押してしまうと〈オプション設定〉が保存終了されてしまうので注意。
- ② 次の設定項目に移動する場合は [下スクロール] または [オルト] を、前の設定項目に移動する場合は [上スクロール] または [コントロール] を押す。
- ③ 設定がすべて完了したら最後に [エンター] を押す。
→ 一瞬〈オプション保存完了〉と表示され、〈オプション設定〉または元の表示に戻る。
★設定を保存せずに終了させる場合は [F 4] を押す。
→ 一瞬〈オプション保取消〉と表示され、〈オプション設定〉または元の表示に戻る。
- ④ 表示が〈オプション設定〉であれば [F 4] を押し、プログラムメニューの〈設定〉に戻る。

(3) 盲ろう者の有効な設定項目

オプション設定はシックスは 50 項目、シックスミニは 48 項目あります。盲ろう者が使うことを前提とし、ここでは初期設定から変更した方が良いと思われる項目を記します。

すべての項目リストについては別添の「参考資料 B ブレイルセンスシックスのメニュー階層」を参照ください。

①点字カーソル (c)

方法：[スペース] を押し、〈常に表示〉→〈点滅〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：点字カーソルは〈7・8〉で表示される。〈点滅〉は〈7・8〉が上下する。

推奨：〈常に表示〉は文章を編集するときには便利だが、点字の触読が苦手なユーザーは〈7・8〉があることが妨げとなるので、その場合は〈オフ〉が望ましい。触読がある程度できるがカーソル位置がすぐに見つけられないといった場合は〈点滅〉が有効。

②コンピュータ点字 (u)

方法：[スペース] を押し、〈日本語情報処理〉→〈無変換 (NABCC)〉を切り替える。

解説：NABCC (North American Braille Computer Code) とは、アメリカで開発されたコンピュータ点字の独自のルールで、英数字を入力する時は外国語引用符や外文字や数符が必要なく、数字を入力する時は下がり数字を用いる。一方、日本語情報処理とは、日本語の文章の中に外国語引用符や外文字、数符を利用して、メールアドレスや URL を表示したり入力したりする方法である。

推奨：日本語環境では一般的に使われている〈日本語情報処理〉を選択。

③メッセージ表示時間 (m)

方法：[スペース] で〈3〉→〈4〉と秒数を増やし、[バックスペース] で〈3〉→〈2〉と秒数を減らす。選択項目は〈1〉～〈10〉と〈非表示〉がある。

解説：〈電源オン〉〈メールがありません〉〈送信完了〉等のメッセージが点字表示される秒数を設定する。初期値は3秒。

推奨：点字の触読が苦手なユーザーは〈5〉～〈7〉秒程度に設定するとメッセージが読みやすくなることが多い。ただし、メッセージ表示は必ずしも触読しなくてはならないものではないので、初期値の〈3〉秒のままにし、あえて盲ろう者にメッセージ表示を触読させないことで触読の負担軽減を図るという考え方もある。また、メッセージ表示時間を長く設定するとフリーズしたと勘違いしてしまうことがあり、その盲ろう者に合わせた設定が必要である。点字の触読がスムーズなユーザーの場合は初期値で問題ない。

④音声 (v)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：点字のみで使う場合は〈オフ〉、音声も併用する場合は〈オン〉にする。

推奨：通常は〈オフ〉。

⑤主音量 (v)

方法：[スペース] で〈0〉～〈15〉の音量に切り替える。

解説：音声や警告音、起動サウンドなど音全般の音量を変更する。初期値は〈12〉でシックスではかなり音が大きい。なおシックス、シックスミニともに本体の左側面に主音量を調節するボタンがあるので、それでも調節可。

推奨：聴力の活用が可能なユーザーには音も便利だが、あまり大きいと周囲の迷惑となるので、適切な音量を設定する。

⑥LCD ディスプレイ(l) ★シックスミニには無い

方法：[スペース] で〈オフ〉→〈全て（ライティング）〉→〈オン〉の3項目から選択。

解説：支援者が画面が必要な場合は〈オン〉あるいは〈全て（ライティング）〉に設定する。

〈全て（ライティング）〉は〈オン〉より明るいですが、比較的早くバッテリーが消耗する。

推奨：盲ろう者が使っている時に他者に覗かれることがないように、通常は〈オフ〉。

⑦LCD ディスプレイの切り替え (f) ★シックスミニには無い

方法：[スペース] で〈オン〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：〈オン〉にすると、支援者用に画面の上下が反転し、向かい合った状態でも画面が見やすくなる。

推奨：通常は〈オフ〉。

⑧警告音 (w)

方法：[スペース] で、〈ビープ（音）〉→〈振動〉→〈両方〉→〈オフ〉を切り替える。

説明：操作時のエラーやインターネットの接続・切断等の通知を、音・振動あるいは両方から選択できる。

推奨：聴力の活用が可能なユーザーには音も便利だが、公共の場で使用するときなどは〈振動〉のみの方が好ましい場合がある。

⑨起動サウンド (s)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈オフ〉を切り替える。

説明：起動・終了の音楽通知を〈オン〉あるいは〈オフ〉にする。

推奨：聴力の活用が可能なユーザーには音楽通知も便利だが、公共の場で使用するときなどは〈オフ〉の方が好ましい場合がある。

⑩左側スクロールボタン (l) ／ 右側スクロールボタン (r)

方法：各項目で[スペース] を押し、〈ディスプレイ幅〉→〈行〉→〈文字〉→〈段落〉→〈文〉を切り替える。

説明：〈スクロール〉を押したときの動作を設定する項目。

推奨：基本的には初期値の〈ディスプレイ幅〉でいいが、旧ブレイルセンスからの利用者の一部には〈スクロール〉でメールやアドレス帳の項目移動をしたいというニーズがあり、その場合は左右どちらかを〈行〉に設定する場合がある。

⑪コントロール情報 (i)

方法：[スペース] で、〈後ろ〉→〈オフ〉→〈前〉を切り替える。

解説：ブレイルセンスの状態を英語で表すステータス情報を、どの位置に表示するか、あるいは表示しないかを選択する項目。

★ステータス情報の例

〈eb〉（エディットボックス）：漢字仮名まじり文も含めて入力可能なフォーム。

〈li〉（リスト）：一覧表示。

〈ce〉（コマンドエディット）：半角英数字しか入力できないフォーム。

推奨：英語の触読が難しいユーザーには〈オフ〉、英語が少し読めて今後こうした情報が活用可能なユーザーには〈後ろ〉、英語の触読がスムーズなユーザーには〈前〉を推奨している。

★〈オフ〉にした場合でも、〈SCHB〉（チェックあり）と〈UCHB〉（チェックなし）は前に表示される。

⑫パスワード表示 (p)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：この機能を〈オン〉にすることで、電子メール等のパスワードを表示することが可能。

推奨：通常は〈オフ〉。

⑬ホットキー情報 (h)

方法：[スペース] で、〈文字〉→〈点字キー〉→〈点字のみ〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：この機能を〈オフ〉にすることで、各アプリのプルダウンメニューの後ろに英語で表示されるホットキーのガイドを非表示にすることができる。〈文字〉〈点字キー〉〈点字のみ〉では点字表示はすべて同じなので注意。

★ホットキー情報の表示例

〈文字〉〈点字キー〉〈点字のみ〉を選択した場合の点字表示 → 〈開く ent-o〉

〈オフ〉を選択した場合の点字表示 → 〈開く〉

推奨：なるべく英語を触読したくないユーザーは〈オフ〉。

⑭ショートカットキー情報 (s)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈点字のみ〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：この機能を〈オフ〉にすることで、プログラムメニューなどの後ろに英語で表示されるショートカットキーを非表示にすることができる。〈文字〉〈点字のみ〉では点字表示はどちらも同じなので注意。

★ショートカットキー情報の表示例

〈オン〉〈点字のみ〉を選択した場合の点字表示 → 〈ファイル管理 (f)〉

〈オフ〉を選択した場合の点字表示 → 〈ファイル管理〉

推奨：なるべく英語を触読したくないユーザーは〈オフ〉。ただし、英語の触読が苦手なユーザーでも、ショートカットキー情報を〈オン〉にすることで、メニューかどうかのわかりやすくなる場合がある。

⑮スリープモード (p)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈メッセージ〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：〈オン〉は、⑯で設定した時間に何もキーが押されないと、自動的にスリープになる。

〈メッセージ〉は、⑯で設定した時間ごとに音声で〈電源オン〉と読み上げる。なお、電源アダプタに接続している間はスリープモード機能は働かない。

推奨：指導の初期段階では、説明している間にスリープになってしまうことが多いため〈オフ〉。普段使いの時は通常は〈オン〉。

⑩スリープモード開始 (k)

[スペース] で〈10 分後〉→〈20 分後〉→〈30 分後〉を切り替える。

解説：スリープになるまでの時間を設定する。

推奨：バッテリーの節約を考慮しユーザーと相談し設定する。

⑪無線 LAN (w)

方法：[スペース] で〈オン〉→〈オフ〉を切り替える。

解説：初期値では〈オン〉になっているが、いつの間にか〈オフ〉になってしまいインターネットやメールができないというトラブルが起きる。

★詳しくは「第 10 部 無線 LAN の設定」を参照。

推奨：通常は〈オン〉。

(4) オプション設定のバックアップについて

オプション設定を変更した際は、必ずバックアップをとるようにしてください。バックアップの方法は後述の「第 9 部 バックアップ／復旧オプション」を参照してください。

第 9 部

バックアップ／復旧オプション

(1) バックアップ／復旧オプションとは

バッテリーが切れた後そのまま放置したり、ファームウェアを更新したりすると、オプション設定や各プログラムの設定が初期化されてしまいます。そのため、設定を変更した後は必ずバックアップをとるようにしてください。バックアップをとっておけば、初期設定に戻ってしまってもすぐに復旧することができます。

〈バックアップ／復旧オプション〉でバックアップできる項目は次の 21 項目です。

- ・ オプション設定
- ・ ファイル管理設定
- ・ ワードプロセッサ設定
- ・ ノートパッド設定
- ・ 電子メール設定
- ・ メディアプレーヤー設定
- ・ ラジオ設定
- ・ ポットキャスト設定
- ・ Web ラジオ設定
- ・ レコーダー設定
- ・ Daisy 設定
- ・ リーダー設定
- ・ アドレス管理設定
- ・ スケジュール管理設定
- ・ タスクリスト設定
- ・ ウェブブラウザ設定
- ・ Google 検索設定
- ・ Excel ビューア設定
- ・ 世界時計設定
- ・ 目覚まし設定
- ・ Bluetooth 接続設定

(2) バックアップする

- ① プログラムメニューで [下スクロール] または [オルト] を押し〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] で〈バックアップ/復旧 オプション〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。 → 〈選択 オプション設定 1/21〉と表示。
★点字には〈3・5 3・5 オプション設定 1/21〉と表示。
- ⑤ [F 3] を1回押す。 → 〈全て選択〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押し、2秒ほど待つ。
- ⑦ [F 3] を1回押す。 → 〈バックアップ〉と表示。
- ⑧ [エンター] を押す。 → 〈既定のパス (/flashdisk/database)〉と表示。
- ⑨ [エンター] を押す。
→ 〈バックアップ中〉〈バックアップ完了〉と表示が変わり〈バックアップ/復旧 オプション〉と表示。
- ⑩ [スペース] + [z (マ) (1・3・5・6)] を押す。 → 〈設定〉に戻る。

(3) 復旧する

- ① プログラムメニューで〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] で〈バックアップ/復旧 オプション〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。 → 〈選択 オプション設定 1/21〉と表示。
★点字には〈3・5 3・5 オプション設定 1/21〉と表示。
- ⑤ [F 3] を1回押す。 → 〈全て選択〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押し、2秒ほど待つ。
- ⑦ [F 3] を2回押す。 → 〈復旧〉と表示。
- ⑧ [エンター] を押す。 → 〈既定のパス (/flashdisk/database)〉と表示。
- ⑨ [エンター] を押す。 → 〈本当にシステムを再起動しますか？ はい〉と表示。
→ 復旧を実行しない場合は [下スクロール] を押して〈いいえ〉を選択。
- ⑩ [エンター] を押す。
- ⑪ 〈電源オフ〉と表示され、しばらくすると点字ディスプレイがすべて消え再起動が始まる。
- ⑫ 〈ファイル管理〉と表示されたら終了。

(4) 無線 LAN の復旧について

無線 LAN の設定はバックアップの対象外です。復旧しても元の状態には戻りませんので後述の「第 10 部 無線 LAN の設定」を参照し、手動で再度設定してください。

無線 LAN のアクセスポイント名やネットワークキーは日ごろから控えを取るなどして、すぐに設定できるよう備えておいてください。

第 10 部

無線 LAN

- 1 無線 LAN の基本設定
- 2 ネットワーク名が参照できない（SSID ステ
ルス）の場合の設定
- 3 無線 LAN に繋がらない時の対応

1 無線 LAN の基本設定

(1) オプション設定で無線 LAN をオンにする

無線 LAN の接続設定を行う場合は、〈設定〉の〈オプション設定〉の〈無線 LAN〉が〈オン〉になっていることを確認してください。★「第 8 部 オプション設定」参照。

もしくは、以下のショートカットキーで無線 LAN のオン／オフの切り替えができます。

[バックスペース] + [ス (1・4・5・6)]

★一瞬だけ〈無線 LAN オン〉と表示され、元の表示に戻ります。

★もう一度 [バックスペース] + [ス (1・4・5・6)] を押すとオフになります。

(2) 無線 LAN を設定する

ここでは無線 LAN の標準的な設定例を紹介します。セキュリティのレベルによっては、〈詳細設定〉の〈追加〉から設定しなければならない場合もあります。

① プログラムメニューの〈設定〉に移動。

② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。

③ [下スクロール] を押して〈インターネット設定〉に移動。

④ [エンター] を押す。

→ 検出されたアクセスポイントのネットワーク名が一覧で表示。

★アクセスポイントのネットワーク名は SSID とも言う。

⑤ [オルト] を押して接続したいネットワーク名を選択する。

→ 行き過ぎた場合は [コントロール] で戻る。

→ ネットワーク名が長い時は [下スクロール] を押して確認する。

⑥ [エンター] を押す。 → 〈ネットワークキー〉と表示。

★ネットワークキーはセキュリティキーあるいは暗号化キーとも言う。

⑦ ネットワークキーを入力する。

⑧ [エンター] を押す。

→ 一瞬だけ〈(アクセスポイント)に接続中〉〈(アクセスポイント)に接続〉と表示され、続けて〈(ネットワーク名)〉、暗号化：WPA2、信号強度：非常に強い、接続〉と表示。

⑨ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押す。

→ 〈インターネット設定〉に戻る。

⑩ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を押す。

→ 〈設定〉に戻る。

★プログラムメニューでネットワークの確認 [スペース] + [ツ (n) (1・3・4・5)] を押して〈状態：オンライン〉であることを確認してください。

2 ネットワーク名が参照できない（SSID ステルス）の場合の設定

無線 LAN のセキュリティを高めるために、無線 LAN ルーターの設定がネットワーク名（SSID）を参照できないようにする設定（SSID ステルス）になっていることがあります。無線 LAN が SSID ステルスの場合、〈詳細〉の〈追加〉から設定をする必要があります。

- ① プログラムメニューの〈設定〉に移動。
 - ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
 - ③ [下スクロール] を押して〈インターネット設定〉に移動。
 - ④ [エンター] を押す。
→ 検出されたアクセスポイントのネットワーク名が一覧で表示。
 - ⑤ [F 3] を 1 回押す。 → 〈詳細ダイアログボックス〉と表示。
★点字には〈詳細・・・〉と表示。
 - ⑥ [エンター] を押す。 → 〈プロフィール：（ネットワーク名）〉と表示。
 - ⑦ [F 3] を 2 回押す。 → 〈追加ダイアログボックス〉と表示。
★点字には〈追加・・・〉と表示。
 - ⑧ [エンター] を押す。 → 〈ネットワーク名（SSID）〉と表示。
 - ⑨ ネットワーク名を入力する。
 - ⑩ [F 3] を押して〈セキュリティ：なし 1/6〉に移動。
 - ⑪ [スペース] を押してセキュリティレベル〈WPA/WPA2-Personal〉などを選択する。
 - ⑫ [F 3] を押して〈パスワード：〉に移動。
 - ⑬ セキュリティキーを入力する。
 - ⑭ [F 3] を押して〈構成オプション UCHB〉に移動。
 - ⑮ [スペース] を押してチェックを入れる。
→ 〈構成オプション SCHB〉に表示が変わる。
 - ⑯ [F 3] を 5 回押して〈非公開ネットワーク：未使用 1/2〉に移動。
 - ⑰ [スペース] を押して〈使用 2/2〉に変更する。
 - ⑱ [F 3] を 1 回押して〈確認〉に移動。
 - ⑲ [エンター] を押す。 → 〈プロフィール：（ネットワーク名）〉と表示。
 - ⑳ [スペース] + [マ（z）（1・3・5・6）] を押す。
→ 〈（ネットワーク名），暗号化：WPA2，信号強度：非常に強い，接続〉と表示。
 - ㉑ [スペース] + [マ（z）（1・3・5・6）] を押す。
→ 〈インターネット設定〉に戻る。
 - ㉒ [スペース] + [マ（z）（1・3・5・6）] または [F 4] を押す。
→ 〈設定〉に戻る。
- ★プログラムメニューでネットワークの確認 [スペース] + [ツ（n）（1・3・4・5）] を押して〈状態：オンライン〉であることを確認してください。

3 無線 LAN に繋がらない時の対応

(1) モバイルルーターの電源の確認

モバイルルーターを使ってインターネットに接続している場合、モバイルルーターの電源を入れ忘れていたり、モバイルルーターが完全に起動していない状態で使い始めたりすることで、インターネットに繋がっていないと勘違いしてしまうケースがあります。

まずは、モバイルルーターが完全に起動しているかどうか確認してください。

(2) オプション設定の無線 LAN がオンになっているかを確認

「第 8 部 オプション設定」または前述の「1 無線 LAN の基本設定」の「(1) オプション設定で無線 LAN をオンにする」を参照し、オプション設定の無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

無線 LAN をオンにするショートカットは [バックスペース] + [ス (1・4・5・6)] です。

(3) システムリセット（再起動）

普段は繋がっているのに、たまに繋がらなくなってしまうことがあります。

その場合は以下のキーを押してシックスをリセットします。

[F 2] + [F 3] + [メ (1・2・3・4・5・6)]

→ 〈システムは再起動します。〉と表示され再起動がはじまります。しばらくすると起動し〈ファイル管理〉と表示されます。

(4) 無線 LAN の再接続

リセットしてもネットに繋がらない時は下記の設定を試みてください。

- ① プログラムメニューの〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] で〈インターネット設定〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。
→ 検出されたアクセスポイントのネットワーク名が一覧で表示。
- ⑤ [F 3] を 1 回押す。 → 〈詳細 ダイアログボックス〉と表示。
★点字には〈詳細・・・〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 〈プロフィール：(ネットワーク名)〉と表示。
★ネットワーク名 (SSID) を複数登録している場合は、[下スクロール] または [オルト] を押して接続したいネットワーク名を選択する。
- ⑦ [エンター] を押す。
→ しばらくするとインターネットに接続され、〈(ネットワーク名) に接続〉と表示。
- ⑧ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を 2 回押す。 → 〈設定〉に戻る。

(5) 誤って設定したアクセスポイントのネットワーク名を削除

シックスの電源を入れた直後、インターネットに繋がったり繋がらなかったりと不安定になることがあります。

考えられる理由は、無線 LAN の設定を行った時に、誤って設定したアクセスポイントのネットワーク名がプロフィールリストに登録されてしまっている（アクセスポイント一覧で他のアクセスポイントをエンターしてしまった等で起こる）ことです。

間違えて登録してしまったネットワーク名は、以下の方法でプロフィールリストから削除してください。

- ① プログラムメニューで〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] で〈インターネット設定〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。 → 検出されたアクセスポイントのネットワーク名が一覧で表示。
- ⑤ [F 3] を 1 回押す。 → 〈詳細 ダイアログボックス〉と表示。
★点字には〈詳細・・・〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 〈プロフィール：(ネットワーク名)〉と表示。
- ⑦ [オルト] を押し、使わないネットワーク名に移動。
- ⑧ [F 3] を 3 回押し、〈削除〉に移動。
- ⑨ [エンター] を押す。
→ 一瞬だけ〈プロフィール：(ネットワーク名)〉と表示され、〈削除完了〉と表示。
★他に削除したいアクセスポイントがある場合は、⑦から⑨を繰り返す。
- ⑩ [スペース] + [z (マ) (1・3・5・6)] を 2 回押す。 → 〈設定〉に戻る。

第 11 部

ファームウェア

- 1 ファームウェアの確認
- 2 ファームウェアの更新

年に数回ファームウェアの更新プログラムがリリースされます。それまでの不具合が修正されたり新しい機能が追加されたりしますので、最新のファームウェアに更新することにより使いやすくなることが期待されます。

しかし、ファームウェアの更新により新たな不具合が発生する場合もあるため、現状大きな問題がなければ、しばらく様子を見てから更新することをおすすめします。

1 ファームウェアの確認

(1) ファームウェアのバージョンの確認

ファームウェアのバージョンを確認するには、プログラムメニューを表示した状態で以下のショートカットキーを押します。

[スペース] + [ヒ (v) (1・2・3・4)]

★ [F 4] を押すと元の表示に戻ります。

(2) ファームウェアのバージョンの表記について

(1)の方法でファームウェアのバージョンを確認すると、次のように表示されます。点字ディスプレイで確認する場合は [下スクロール] を押して読み進めます。

ここでは 2025 年 8 月にリリースされたバージョンを例に挙げます。

シックス 〈ブレイルセンス 6 S/W Ver.2.8, Build 20250818, Rev. 6.32.9.70458〉

シックスミニ 〈ブレイルセンス 6 MINI S/W Ver.2.8, Build 20250818, Rev. 6.20.9.70458〉

着目する箇所はビルド番号〈20250818〉です。ビルド番号は製造元がファームウェアを公開した日付です。

有限会社エクストラのホームページに、現バージョンよりも新しい更新プログラムが公開されているか確認します。

なお、有限会社エクストラのホームページには次のように記載されます。

シックス、シックスミニともに

〈ファームウェア 70458(20250818 版)〉

また、このファームウェアの更新プログラムをダウンロードすると、フォルダ名は次のような表記になります。(圧縮時も解凍時も同じ)

シックス 〈bs6_20250818〉

シックスミニ 〈bs6mini_20250818〉

さらに、このフォルダの中に入っているプログラムのファイル名は次のような表記です。

シックス 〈H632B_system_70458.bin〉

シックスミニ 〈H620B_system_70458.bin〉

シックスにインストールされているバージョンと、有限会社エクストラのホームページにあるバージョンとを照らし合わせる場合は、ビルド番号に該当する〈20250818〉といった数字で確認するようにしてください。

また、ファームウェアをダウンロードした後は、フォルダ名とファイル名の番号が異なりますので注意が必要です。

2 ファームウェアの更新

(1) シックスミニでの注意点

シックスは標準 SD カードと type-A の USB メモリが使えますが、シックスミニは microSD カードと type-C の USB メモリ（または Type-A の変換アダプタ）を使うことになります。

シックスミニについては、「第 1 部 ブレイルセンスシックス／シックスミニの概要」の「4 シックスミニのインターフェース」を参照してから、次の操作を行うようにしてください。

(2) バックアップする

ファームウェアを更新すると、オプション設定や各プログラムの設定が初期化されてしまいます。そのため、ファームウェアを更新する前に必ずバックアップをとるようにしてください。

★詳しい方法は「第 9 部 バックアップ/復旧オプション」を参照してください。

(3) ファームウェアの更新

ファームウェアの更新には、〈オンライン〉と〈オフライン〉の二つの方法があります。

〈オンライン〉は操作が簡単ですが、更新プログラムのファイルの容量が大きいため光回線のような高速インターネットに接続している必要があります。

〈オフライン〉は、パソコンと SD カードもしくは USB メモリが必要になります。

ファームウェアの更新に失敗するとシステムが起動しなくなり、修理に出さなければならなくなりますので、慎重に行ってください。

a) オンラインの場合

必ず光回線のような高速インターネットに接続した状態で行ってください。

①シックスに AC アダプタを接続する。

★ファームウェアの更新時はバッテリーが 100% でも必ず AC アダプタを使用すること。

②プログラムメニューの〈ユーティリティ〉に移動。

③ [エンター] を押す。 → 〈電卓〉と表示。

④ [下スクロール] または [オルト] で〈ファームウェアの更新〉に移動。

⑤ [エンター] を押す。 → 〈アップグレード： オンライン 1/2〉と表示。

⑥ [エンター] を押す。

→ 〈インターネット接続を確認しています〉と表示された後、すぐに〈接続中〉と表示されアップデートが始まる。回線速度にもよるが、1 時間ほど経ち、シックスが再起動する。

⑦ 〈ファイル管理〉と表示されたら終了。

★更新中は他の操作をしないでください。

b) オフラインの場合

- ①パソコン等を利用して、有限会社エクストラのホームページからファームウェアの更新プログラム（圧縮ファイル）をダウンロードする。
- ②ダウンロードしたファイルを解凍する。
- ③解凍したフォルダ内のファイル（1 個）を、SD カードまたは USB メモリの直下（フォルダの階層の一番上。SD カードや USB メモリを開いた時に最初に表示される領域のこと）にコピーする。
- ④SD カードまたは USB メモリをシックスに差し込む。
- ⑤シックスに AC アダプタを接続する。
★ファームウェアの更新時はバッテリーが 100%でも必ず AC アダプタを使用すること。
- ⑥プログラムメニューの〈ユーティリティ〉に移動。
- ⑦〔エンター〕を押す。 → 〈電卓〉と表示。
- ⑧〔下スクロール〕または〔オルト〕で〈ファームウェアの更新〉に移動。
- ⑨〔エンター〕を押す。 → 〈アップグレード： オンライン 1/2〉と表示。
- ⑩〔スペース〕を押し、〈オフライン 2/2〉に変更する。
- ⑪〔エンター〕を押す。
→ 〈プログラムファイルを抽出しています〉と表示されアップデートが始まる。20 分ほど経ち、シックスが再起動する。
- ⑫〈ファイル管理〉と表示されたら終了。
★更新中は他の操作をしないでください。

○参考

ファームウェアの更新に失敗してしまうと修理が必要になりますので、なるべく指導者が行うようにしてください。

発売元の有限会社エクストラでは 3,000 円でファームウェアの更新を請け負っています。

(4) 復旧する

ファームウェアの更新後はオプション設定などの設定が初期化されるため、必ず〈バックステップ/復旧オプション〉で復旧を実行してください。

★詳しい方法は「第 9 部 バックアップ/復旧オプション」を参照してください。

第 12 部

シックスアプリ

(1) シックスアプリとは

プログラムメニューの〈プログラム〉の中にあるアプリケーションは、有限会社エクストラが独自に開発したシックス用追加アプリケーションです。

2025 年 9 月 20 日現在、以下の 10 個のアプリケーションが公開されています。

- ・ スカイナビ
- ・ BES エディタ
- ・ BES リーダー
- ・ ウィキペディア
- ・ クイックブラウザ
- ・ サピエ
- ・ センス将棋
- ・ 乗り換え検索
- ・ 将棋倶楽部 24 アクセス
- ・ 簡単スケジューラ

シックスを購入した時点では無かったアプリが、その後公開され、新規にインストールが必要になる場合があります。

また、シックスアプリもファームウェアと同様、年に数回、不具合の修正や新しい機能の追加などで更新プログラムが公開されます。その場合は、すでにインストールされているアプリの更新が必要になってきます。

ここでは、新規にインストールする方法と、すでにインストールされているアプリを更新する方法を説明します。

(2) シックスミニでの注意点

シックスは標準 SD カードと type-A の USB メモリが使えますが、シックスミニは microSD カードと type-C の USB メモリ（または Type-A の変換アダプタ）を使うことになります。

シックスミニについては、「第 1 部 ブレイルセンスシックス／シックスミニの概要」の「4 シックスミニのインターフェース」を参照してから、次の操作を行うようにしてください。

(3) 新規アプリのインストール

〈サピエ〉アプリの 2024 年 12 月にリリースされたバージョンを例に挙げ説明します。

- ①パソコン等を利用して、有限会社エクストラのホームページから「ブレイルセンスシックス /ブレイルセンスシックスミニ用追加アプリ シックス APP」の〈サピエ〉のプログラム（圧縮ファイル）をダウンロードする。
★フォルダ名は〈6_sapie_241217〉という表記。
- ②ダウンロードしたフォルダを解凍する。
- ③解凍したフォルダ内に〈6_sapie_20241217_174642.apk〉というファイルが入っているので、それを SD カードまたは USB メモリにコピーする。
- ④SD カードまたは USB メモリをシックスに差し込む。
- ⑤プログラムメニューで〈ファイル管理〉に移動。
- ⑥〔エンター〕を押す。 → 〈flashdisk〉と表示。
- ⑦〔下スクロール〕または〔オルト〕で、SD カードを使っている場合は〈sd(secure digital card)〉に、USB メモリを使っている場合は〈USB (スティックメモリー)〉に移動。
- ⑧〔エンター〕を押す
→ SD カードまたは USB メモリ内のファイルやフォルダが表示。
- ⑨〔下スクロール〕または〔オルト〕で〈6_sapie_20241217_174642.apk〉に移動。
- ⑩〔エンター〕を押す。
→ 初めてインストールする場合は〈セキュリティ上の理由からお使いのスマートフォンでは現在この提供元からの不明なアプリをインストールすることはできません。これは[設定]で変更できます。〉と表示。
- ⑪〔F 3〕を 2 回ほど押して〈設定〉に移動。
- ⑫〔エンター〕を押す。
→ 〈不明なアプリのインストール〉または〈上へ移動〉など并表示される。★環境やバージョンによって表示が変わる場合がある。
- ⑬〔F 3〕を 2 回ほど押し〈この提供元のアプリを許可 off〉に移動。
- ⑭〔エンター〕を押す。 → 〈このアプリをインストールしますか?〉という警告が表示。
- ⑮〔F 3〕を押して〈bt インストール…〉に移動。
- ⑯〔エンター〕を押す。
→ 〈サピエ〉と表示され、しばらくすると〈アプリをインストールしました〉と表示。
- ⑰〔F 3〕を押す。 → 〈完了〉と表示。
- ⑱〔エンター〕を押す。 → 〈この提供元のアプリを許可〉に戻る。
- ⑲〔F 4〕を押して設定画面を閉じる。 → 〈6_sapie_20241217_174642.apk〉と表示。
- ⑳〔スペース〕 + 〔マ (z) (1・3・5・6)〕を押す。 → 〈ファイル管理〉に戻る。

(4) アプリの更新

- ①パソコン等を利用して、有限会社エクストラのホームページから「ブレイルセンスシックス /ブレイルセンスシックスミニ用追加アプリ シックス APP」の〈サピエ〉のプログラム（圧縮ファイル）をダウンロードする。
★フォルダ名は〈6_sapie_241217〉という表記。
- ②ダウンロードしたファイルを解凍する。
- ③解凍したフォルダ内に〈6_sapie_20241217_174642.apk〉というファイルが入っているので、それをSDカードまたはUSBメモリにコピーする。
- ④SDカードまたはUSBメモリをシックスに差し込む。
- ⑤プログラムメニューで〈ファイル管理〉に移動。
- ⑥〔エンター〕を押す。 → 〈flashdisk〉と表示。
- ⑦〔下スクロール〕または〔オルト〕で、SDカードを使っている場合は〈sd(secure digital card)〉に、USBメモリを使っている場合は〈USB（スティックメモリー）〉に移動。
- ⑧〔エンター〕を押す
→ SDカードまたはUSBメモリ内のファイルやフォルダが表示。
- ⑨〔下スクロール〕または〔オルト〕で〈6_sapie_20241217_174642.apk〉に移動。
- ⑩〔エンター〕を押す。
→ 〈サピエ〉などのアプリ名や〈このアプリを更新しますか？〉などと表示。
- ⑪〔F 3〕を何回か押す。 → 〈bt 更新…〉が表示。
- ⑫〔エンター〕を押す。
→ 〈サピエ〉と表示され、しばらくすると〈アプリをインストールしました。〉と表示。
★しばらくしても〈サピエ〉の表示から変化しない場合は⑬へ。
- ⑬〔F 3〕を押す。 → 〈bt 完了…〉と表示。
- ⑭〔エンター〕を押す。 → 〈完了〉と表示。
★〈完了〉と表示されず、〈6_sapie_20241217_174642.apk〉と表示された場合は⑯へ。
- ⑮〔F 4〕を押して設定画面を閉じる。 → 〈6_sapie_20241217_174642.apk〉と表示。
- ⑯〔スペース〕＋〔マ（z）（1・3・5・6）〕を押す。 → 〈ファイル管理〉に戻る。

○補足

インストール時は点字表示が更新されないこともあるので、〔F 3〕などを押して必要なボタンや表示を確認しながら作業を進める必要があります。

(5) Google Play プロテクトにインストールがブロックされた場合

シックスアプリのインストール中に Google Play プロテクトにインストールをブロックされた場合は、以下の設定を実行してください。

- ① プログラムメニューの〈設定〉に移動。
- ② [エンター] を押す。→ 〈時計設定〉と表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] で 〈Android システム設定〉まで移動。
- ④ [エンター] を押す。→ 〈bt 設定を検索…〉と表示。
- ⑤ [F 3] を何度か押して 〈bt セキュリティ…〉に移動。
- ⑥ [エンター] を押す。→ 〈設定〉と表示。
- ⑦ [F 3] を何度か押して 〈bt GooglePlay プロテクト OFF…〉まで移動。
- ⑧ [エンター] を押す。→ 〈Play プロテクト リストの外です〉と表示。
- ⑨ [F 3] を何度か押して 〈bt 設定…〉に移動。
- ⑩ [エンター] を押す。→ 〈Play プロテクトの設定〉と表示。
- ⑪ [F 3] を何度か押して 〈Play プロテクトによるアプリのスキャン…〉に移動。
- ⑫ [エンター] を押す。
→ 〈Play プロテクトでは、Play 以外のアプリはスキャンできません〉と表示。
- ⑬ [F 3] を何度か押して 〈オフにする…〉まで移動。
- ⑭ [エンター] を押す。→ 〈bt Play プロテクトによるアプリのスキャン…〉と表示。
- ⑮ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を何度か押して 〈設定〉に戻る。

○補足

発売元の有限会社エクストラでは 5,000 円でアプリのインストールを請け負っています。

(6) アプリのアンインストール

シックスアプリに不具合がありアンインストールしたい場合は、以下の手順で行います。

- ① プログラムメニューの〈すべてのアプリケーション〉に移動。
- ② [エンター] を押す。→ 〈Chrome〉などのアプリの名前が表示。
- ③ [下スクロール] または [オルト] を押し 〈App 管理〉に移動。
- ④ [エンター] を押す。
→ 〈ダウンロードしたアプリケーション: BES エディタ, version…〉と表示。
- ⑤ [下スクロール] または [オルト] を押しアンインストールしたいアプリに移動。
- ⑥ [F 3] を押す。→ 〈アンインストール〉と表示。
- ⑦ [エンター] を押す。
→ 〈このアプリケーションを削除しますか? はい〉と表示。
→ アンインストールを中止する場合は [下スクロール] を押して 〈いいえ〉に移動。
- ⑧ [エンター] を押す。→ 〈アンインストール〉に戻る。
- ⑨ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を何回か押し 〈すべてのアプリケーション〉に戻る。

第 13 部

システムリセット・設定の初期化

- 1 システムリセット（再起動）
- 2 設定の初期化

1 システムリセット（再起動）

普段はインターネットに繋がっているのに、たまに繋がらなくなってしまう時や、シックスがフリーズしてしまった時など、以下のキーを押してリセットします。

[F 2] + [F 3] + [メ (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6)]

→ 〈システムは再起動します。〉と表示され再起動がはじまります。しばらくすると起動し〈ファイル管理〉と表示されます。

★システムリセットが実行されない場合は、バッテリーを取り外して数秒間放置してください。その後バッテリーを取り付けて電源ボタンを押すことで再起動します。

2 設定の初期化

大概のトラブルは前述の「1 システムリセット（再起動）」にあるように、システムリセットまたはバッテリーを取り外す方法で解決しますが、それでも改善されない場合は、以下の手順で設定の初期化を実行してください。

(1) バックアップする

設定を初期化すると、オプション設定や各プログラムの設定が初期化されてしまいます。設定を初期化する前に必ず〈バックアップ/復旧オプション〉でバックアップをとるようにしてください。

★詳しい方法は「第9部 バックアップ/復旧オプション」を参照してください。

(2) 設定の初期化

a) 方法その1

①プログラムメニューで〈設定〉に移動。

②[エンター]を押す。 → 〈時計設定〉と表示。

③[下スクロール]または[オルト]を押して〈設定の初期化〉に移動。

④[エンター]を押す。 → 〈設定を初期化しますか？はい〉と表示。

⑤設定の初期化を実行する場合は[エンター]を押す。

★実行を中止する場合は[スペース]を押して〈いいえ〉を選び[エンター]を押す。

→ 〈設定を初期化しています。システムは再起動します。〉と表示され、その後点字ディスプレイが非表示になりシステムが再起動する。

⑥再起動後、音声はオン、液晶ディスプレイはオフの状態でクイックスタートガイドが起動し、説明が音声と点字で表示される。しばらく待つと〈スターティングガイドは…〉と表示が止まる。

⑦[F 4]を押す。

→ 〈クイックスタートガイドを終了してプログラムメニューに移動しますか？はい〉と表

示される。

⑧ [エンター] を押す。 → 〈ファイル管理〉が表示され初期化終了。

b) 方法その 2

設定の初期化は、シックスの電源が完全にオフになった状態で、前面にあるオーディオボタンの [進むボタン] + [電源スイッチ] を同時に押すことでも実行できます。

- ①電源オフの状態で前面にあるオーディオボタンの [進むボタン] を押しながら [電源ボタン] を押す。
- ②1 回目の振動があったら [電源ボタン] のみ離して、[進むボタン] は押し続けたままにする。
→ しばらくすると点字表示が変わり〈設定を初期化しています〉と表示された後、点字表示が非表示になり再起動する。[進むボタン] はまだ押し続ける。
- ③また振動があり、点字に 2 回目の〈HIMS〉が表示されたら [進むボタン] から指を離す。
→ しばらくするとシステムが再起動する。
- ④再起動後、音声はオン、液晶ディスプレイはオフの状態でクイックスタートガイドが起動し、説明が音声と点字で表示される。しばらく待つと〈スターティングガイドは…〉と表示が止まる。
- ⑤ [F 4] を押す。
→ 〈クイックスタートガイドを終了してプログラムメニューに移動しますか？はい〉と表示される。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 〈ファイル管理〉が表示され初期化終了。

○参考

設定の初期化はスリープの状態では実行されません。

(3) 復旧する

設定の初期化後は音声出力はオン、液晶ディスプレイはオフになります。これらの変更をするには、「第 2 部 シックスの基本操作」の「(4) 音声のオン／オフ」や「(5) 液晶画面のオン／オフ」を参照してください。

設定の初期化後はオプション設定などの設定が初期化されるため、必ず〈バックアップ／復旧オプション〉で復旧を実行してください。

★詳しい方法は「第 9 部 バックアップ/復旧オプション」を参照してください。

第 14 部

よくあるトラブル

(1) 電源はオンになるがキー操作を受けつけてくれない

電源を入れることはできるが、それ以降の操作ができないという相談があります。

考えられる理由として、キーロックスイッチが「Lock（キーロック）」または「Audio（点字キーロック）」になっている場合です。

「Lock（キーロック）」にしている場合は電源をオンにすることはできますが、電源をオフにすることができません。

「Audio（点字キーロック）」の場合は、電源のオンとオフの操作は可能ですが、キーによる操作はできません。

全ての操作ができるようにするためには、キーロックスイッチを「Unlock（キーロック解除）」の位置に切り替える必要があります。

(2) 点字表示が消えてしまい音声が出てしまう

誤って〈オプション設定〉の〈点字表示〉を選び、〈点字表示：オン〉の所で〔スペース〕を押して、〈オン〉を〈オフ〉にしてしまった時に起こるトラブルです。点字表示をオフにしてしまうと、点字は消え、音声のみオンになります。

ショートカット〔バックスペース〕＋〔F 3〕を押すと、点字表示のオンとオフを切り替えることができますので、「点字表示が消えてしまった」というトラブルが起きたら〔バックスペース〕＋〔F 3〕で点字表示をオンにしてください。

音声をオフにするには〔バックスペース〕＋〔F 2〕を押してください。

(3) インターネット接続ができない

インターネット接続ができない時は、オプション設定の無線 LAN がオフになっていることが多いです。

知らないうちに無線 LAN がオフになってしまっている原因として、盲ろう者が文字入力中に「ム（1・3・4・5・6）」を押すつもりが、誤って無線 LAN のオン/オフのショートカット〔バックスペース〕＋〔ス（1・4・5・6）〕を押してしまったということが考えられます。

このような時は、再度〔バックスペース〕＋〔ス（1・4・5・6）〕を押すことで、無線 LAN をオンにすることができます。

(4) 英語の表記が変わってしまう

削除のショートカット〔スペース〕＋〔ル（d）（1・4・5）〕を押したつもりが、誤って〔スペース〕＋〔レ（g）（1・2・4・5）〕を押してしまい、英語点字の表記が変わってしまったというトラブルがあります。

〔スペース〕＋〔レ（g）（1・2・4・5）〕を押すごとに〈1 級〉→〈2 級〉→〈無変換（NABCC）〉という順で 3 種類の英語表示に変更できますので、元の英語表記に戻してください。

この設定は〈オプション設定〉の〈英語点字モード〉の項目でも変更することができます。

(5) 時刻の表示がおかしい

時刻の表示がおかしいときは、時計設定のタイムゾーンが日本以外の地域に設定されてしまっていることが考えられます。次の方法で設定しなおしてください。

- ① インターネットに繋がっている状態（無線 LAN をオン）にする。
★「第 10 部 無線 LAN」を参照。
- ② プログラムメニューから [下スクロール] を押して〈設定〉に移動。
- ③ [エンター] を押す。 → 〈時計設定〉と表示。
- ④ [エンター] を押す。 → 〈タイムゾーン：(地域名)〉と表示。
- ⑤ [上スクロール] または [下スクロール] を押して〈東京 JST〉を選択する。
- ⑥ [F 3] を 5 回押す。 → 〈時計サーバーと同期〉と表示。
- ⑦ [エンター] を押す。
→ 一瞬〈時計サーバーと接続しています〉と表示され、次に〈同期成功〉と表示され、〈時計設定〉に戻る。
- ⑧ [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] または [F 4] を 1 回押し、〈設定〉に戻る。

(6) 片手入力モードになってしまった

通常は両手で入力するモードになっていますが、何かの拍子にショートカット [バックスペース] + [ニ (l) 1・2・3] を押し、次に [エンター] を押してしまい、片手入力モード（片手モード）に切り替わってしまうことがあります。

片手モードをオンにしてしまうと、両手での文字入力やショートカットなど通常の操作ができなくなりますので、そのような時は [バックスペース] + [ニ (l) 1・2・3] を押して片手モードをオフにしてください。

第 15 部

ネット環境の整備

(1) 盲ろう者を取り巻くインターネット環境の現況

盲ろう者がパソコンやブレイルセンスを利用する上で、インターネット環境の構築は必須です。しかしながら、多様なサービスや複雑な料金プランがあり、またブレイルセンスなどでは一部利用できないサービスや接続機器などもあることから、導入に際してはいくつか注意が必要です。

盲ろう者も、一般ユーザーと同様、インターネット環境を構築する場合は、自宅での固定回線と、外出先などでのモバイル回線の二つを考える必要があります。自宅でパソコンのみを利用する盲ろう者の場合は固定回線を優先して整備する必要がある一方で、ブレイルセンスなどを利用する盲ろう者の場合は、モバイル回線の導入を選択する方も増えています。そのため、最新のサービスの動向を見極めつつ、盲ろう者の利用状況や費用対効果なども鑑みながら、サービスを選択する必要があります。

(2) ブレイルセンスのネット接続の方法

次の 2 種類があります。

- ① 無線 LAN（Wi-Fi 環境で接続する方法）
 - ② 有線 LAN（LAN ケーブルをさして接続する方法）
- ★別売の「USB-有線 LAN 変換アダプタ」が必要です。

(3) 固定回線におけるインターネット構築

自宅でパソコンやブレイルセンスを利用する盲ろう者の場合は、固定回線でのインターネット構築を行う必要があります。

固定回線でインターネットを構築する場合、主に下記の 2 つの方式から選択することになります。

- ① 光回線
- ② ケーブルテレビ（CATV）

これまで手ごろなサービスとして広く利用されてきた ADSL は、2024 年 11 月現在ほとんどのサービスが終了しており、現在は光回線や CATV などを選択せざるを得なくなります。したがって、契約を行う場合は、料金や使用環境などを総合的に判断しつつ、サポートする盲ろう者やご家族などになるべくわかりやすく説明をしながら、サービスを選択する必要があります。

○参考

固定環境における各方式のおおよその月額料金です。詳細は各事業社に確認してください。

- ① 光回線 … 5,000 円程度（プロバイダー、電話料金を含む）
- ② ケーブルテレビ … 6,000～8,000 円程度
（プロバイダー、電話、ケーブルテレビの料金を含む）

なお、ブレイルセンスでメールやインターネットをする場合、無線 LAN を介して接続するには無線 LAN の親機「無線ルーター」が必要です。無線ルーターは、量販店や通販で 5,000～10,000 円程度で購入できます。

また、契約したサービスプロバイダーから提供されるルーター（接続用の機器）の付属サービスとして、無線ルーターの機能が付加されている場合もあります。ただし、別途月額料金が発生する場合もあるので、契約時によく確認して選択してください。

(4) モバイル回線におけるインターネット構築

モバイル回線のサービスは、各携帯電話会社が次々と参入しており、サービス内容や料金プランが複雑化しています。また近年では持ち運び用の「モバイルルーター」に加えて、自宅据え置き型の「ホームルーター」のサービスも各社から提供されており、固定回線の代わりにモバイル回線によるホームルーターを自宅インターネットとして導入するケースも増えていきます。したがって、料金・使い勝手・設定のしやすさ・アフターケア等、総合的に判断して選択する必要があります。

○参考

※以下は各モバイル Wi-Fi のサービスです。詳細は各事業社に確認してください。

- ① 格安 SIM (MVNO) … 1,000～3,000 円
- ② キャリア系サービス (MNO) … 3,000～7,000 円

(5) 格安 SIM を導入する場合の注意事項

a) 支払いについて

格安 SIM は安く利用できるため、ブレイクセンスとの組み合わせではお奨めですが、ほとんどの事業社がクレジットカードのみの支払いにしか対応しません。口座振替での支払いに対応する事業社は、大手キャリアが展開するサブブランドのサービスにほぼ限られます。さらに、近年では口座振替の場合数百円の手数料がかかる事業社もありますので、契約の際は十分確認するようにしてください。

2024 年 11 月現在、口座振替に対応している事業社は、以下の通りです。

- ・ OCN : NTT ドコモのサブブランド
- ・ UQ mobile : KDDI のサブブランド
- ・ Y!mobile : ソフトバンクのサブブランド

b) 端末の用意

格安 SIM を導入する場合、別途モバイルルーターの端末を用意する必要があります。格安 SIM とセットで端末を購入できる場合もありますので、量販店やインターネット等で探すと良いでしょう。

c) SIM カードの種類

SIM カードは 3 種類のサイズ（標準 SIM、マイクロ SIM、ナノ SIM）があり、使用する端末によってサイズが異なります。現在販売されているモバイルルーターのほとんどはナノ SIM ですが、少し古いものではマイクロ SIM や標準 SIM のものもまだ流通しています。したがって、端末を購入する際は SIM カードのサイズを必ず確認するよう、注意してください。

なお、近年では物理的カードを必要としない eSIM に対応したモバイルルーターも登場しており、今後スマートフォンと同様に eSIM が主流になってくるものと思われます。



画像：SIM カードの大きさ比較

(6) ルーターの端末についての注意

タッチパネル方式のルーター端末が増えているので、ボタンを押すだけで電源のオン／オフが可能なものを選ぶようにしてください。また電源ボタンを長押ししていると、電源のオン・オフを繰り返すようなものもありますので、必ず 1 回の長押しで操作が完結するものを選ぶようにしてください。

第 16 部

シックスで iPhone を使う

- 1 iPhone の点字ディスプレイへの対応について
- 2 iPhone の設定
- 3 シックスと iPhone を接続／接続解除する
- 4 シックスから iPhone を操作する
- 5 ライブキャプションの点字表示機能（iOS26）
- 6 音声アシスタント Siri を点字で操作する

1 iPhone の点字ディスプレイへの対応について

(1) はじめに

近年スマートフォンが広く用いられるようになってきました。お買い物でのキャッシュレス決済、マイナンバーカードによる各種行政手続きなど、スマートフォンが使えないと日常生活に支障をきたすほど不可欠なものになってきています。

その中でも視覚障害者の間で最も普及しているのが、米アップル社から発売されている「iPhone（アイフォン）」です。iPhone には「VoiceOver（ボイスオーバー）」という読み上げ機能が標準で搭載されていること、またカメラを使って視覚を補助してくれるアプリが多数開発されていることが人気の理由です。

(2) iPhone の点字ディスプレイへの対応

iPhone は音声読み上げだけでなく、点字ディスプレイと接続して使用することが可能です。しかし、これまで日本語への対応が不十分なため、出力される点字が非常に読みにくいものであったり、また点字ディスプレイ上のキーボードを使って文字を書くことが困難な状況にありました。

そこで全国盲ろう者協会では、開発元のアップル社に、日本語点字機能の改善を要望してきました。その結果、2023 年 9 月にリリースされた iOS17 で、日本語点字機能が大幅に改善され、盲ろう者が点字を使って iPhone を実用的に使用することが可能になりました。

上記の理由から、点字を用いて iPhone を使用する場合は iOS17 以降の利用を推奨します。

本マニュアルでは、点字ディスプレイにはシックス、及びシックスミニを使い、iOS は iOS18 と最新の iOS26 を用いて解説を行います。

2 iPhone の設定

(1) VoiceOver のオン／オフを切り替える設定

iPhone の点字機能は VoiceOver を介して行われます。従いまして、iPhone で点字を使うには必ず VoiceOver をオンにしておく必要があります。

しかし、VoiceOver をオンにすると iPhone の操作方法自体が変更されるため、普段画面を見て iPhone を操作している人は操作ができなくなってしまうかもしれません。

また、普段点字や音声を使用しているユーザーであっても、誰かに画面を見て操作してもらいたいときなど、一時的に VoiceOver をオフにしたい場合があります。

iPhone にはホームボタンのある機種と、ホームボタンのない機種があります。ホームボタンのある機種はホームボタン、ホームボタンのない機種は iPhone 右側のサイドボタンをトリプルクリック（3 回続けて押す）することで、VoiceOver のオン／オフを切り替えることができます。デフォルトの状態では VoiceOver のオン／オフを切り替えられますが、設定によってはそのようになっていない場合もありますので、確認しておきましょう。

- ① iPhone の〈ホーム〉画面を開く。
 - ② 〈設定〉をタップ。
 - ③ 〈アクセシビリティ〉をタップ。
 - ④ 〈ショートカット〉をタップ。
 - ⑤ 〈ホーム（サイド）ボタンのトリプルクリック〉の項目の〈VoiceOver〉をタップし選択状態にする。
- ★VoiceOver のみ使用する場合は他の項目は未選択の状態にしておく。

(2) 点字表の変更

iPhone の各言語の点字入出力は点字表（点字テーブルとも呼ぶ）によって管理されています。

現在 iPhone に搭載されている日本語点字表には、アップル社が作成した「日本語システム」と、日本にある会社が作成した「日本語 NBSC」があり、デフォルトでは「日本語システム」が選択されています。

しかし、「日本語システム」テーブルは、メールアドレスに用いられる「@（アットマーク）」の記号などに対応していない記号類が多く存在します。

そこで、「日本語 NBSC」テーブルに切り替えるための設定手順を記します。

a) 「日本語 NBSC」テーブルの追加

- ① 〈ショートカット〉のページから〈アクセシビリティ〉のページに戻る。
- ② 〈VoiceOver〉をタップ。
- ③ 〈点字〉をタップ。
- ④ 〈点字表〉をタップ。
- ⑤ここに〈日本語 NBSC〉がない場合は、〈点字表を追加〉をタップ。

★もし〈日本語—NBSC〉が存在している場合は下記の手順を行う必要はない。

- ⑥ 〈日本語〉をタップ。
- ⑦ 〈NBSC〉カテゴリ内にある〈日本語〉をタップ。
- ⑧ 後述の b へ進む。

b) 点字テーブルを「日本語 NBSC」に設定 (iOS18 以降)

- ① 〈日本語〉のページから〈点字〉のページに戻る。
 - ② 〈入出力表を一致させる〉をタップし〈オン〉にする。
 - ③ 〈入出力〉をタップ。
 - ④ 〈日本語—NBSC〉をタップして選択状態にする。
- これで iOS18 から点字入力テーブルと出力テーブルを個別に設定できるようになる。

(3) VoiceOver の各種設定

(2)までの設定で、シックスでの点字表示、ならびにシックスにて文字入力することが可能になります。

以下は必ず行わなければならないわけではないのですが、設定しておくとうろう者が点字のみで使用する場合に有効と思われる設定を紹介します。

a) ヒントをオフにする

ヒントがオンの場合、例えばホーム画面でアプリを選択しているとき「開くにはダブルタップします」などといった表示で、アプリ名が上書きされてしまい、アプリの選択が行いにくくなります。そのため、このヒントの表示をオフにします。

- ① iPhone の〈ホーム〉画面を開く。
- ② 〈設定〉をタップ。
- ③ 〈アクセシビリティ〉をタップ。
- ④ 〈VoiceOver〉をタップ。
- ⑤ 〈詳細度〉をタップ。
- ⑥ 〈ヒントを読み上げる〉をタップし〈オフ〉にする。

b) 点字ディスプレイに再接続コマンドを設定する (iOS18 以降)

通常は、シックスの電源がオンになっていて iPhone がスリープから復帰すると、自動的に接続が行われます。しかし、まれに接続がうまく行かないことが報告されています。iPhone とシックスの接続が行われないとうろう者はどうすることもできませんので、iPhone に点字ディスプレイとの再接続コマンドを設定しておくといよいでしょう。

★なおこの機能は iOS18 で搭載された機能であり、iOS17 では設定できませんのでご注意ください。

ここでは、iPhone の画面を 4 本指でクアドラプルタップ（4 回続けて画面をタップすること）を〈点字ディスプレイに再接続〉コマンドに設定する手順を記します。

- ① 〈詳細度〉のページから〈VoiceOver〉のページに戻る。
- ② 〈コマンド〉をタップ。
- ③ 〈すべてのコマンド〉をタップ。
- ④ 〈点字〉をタップ。
- ⑤ 〈点字ディスプレイに再接続〉をタップ。
- ⑥ 〈ジェスチャを追加〉をタップ。
- ⑦ 〈4本指で4回タップ〉をタップ。

c) サウンドと触覚を設定する

iPhone を VoiceOver で操作しているとポコポコという音がするので、盲ろう者が気付かずに音を出していることがあります。また、iPhone を操作するときに軽く振動すると盲ろう者にとって使いやすくなります。

- ① 〈点字ディスプレイに再接続〉のページから〈VoiceOver〉のページに戻る。
- ② 〈オーディオ〉をタップ。
- ③ 〈VoiceOver のサウンドと触覚〉をタップ。
- ④ 〈サウンド〉をタップして〈オフ〉にする。
- ⑤ 〈触覚〉はデフォルトで〈オン〉になっているはずだが、もし〈オフ〉になっていたらタップして〈オン〉にする。
- ⑥ 〈触覚〉のすぐ下にある音量スライダーで〈触覚の強さ〉をお好みの設定に調整する。値が大きいほど振動が強くなり、値が小さいほど振動が弱くなる。

○参考

音声読み上げのオン／オフは、ブレイルセンスから [スペース] + [ヌ (m) (1・3・4)] を押すか、iPhone の画面を 3 本指でダブルタップすることで〈読み上げオン〉〈読み上げオフ〉を交互に切り替えることができます。

VoiceOver をオフにすると点字表示も行われなくなるので注意が必要です。

d) カーソル表示の変更 (iOS26 のみ)

iPhone のカーソルは 2 マスにまたがって表示されます。これをシックスと同じように文字の下にカーソルを表示させることができます。

- ① 〈VoiceOver のサウンドと触覚〉のページから〈VoiceOver〉のページに戻る。
- ② 〈点字〉をタップ。
- ③ 〈アンダーラインカーソルを使用〉をタップし〈オン〉にする。

○参考

iPhone での削除はバックスペースのみです。ブレイルセンスでデリートに該当する [スペース] + [ル (d) (1・4・5)] を押した場合でも、バックスペースとして機能し、カーソル位置の左側の文字が削除されます。

3 シックスと iPhone を接続／接続解除する

(1) シックスと iPhone を Bluetooth で接続する

a) シックス：デバイス名の確認

まず、シックスに設定されているデバイス名を確認します。

- ① [バックスペース] + [エンター] + [ラ (e) (1・5)] を押す。
→ 〈BrailleSense6xxx〉と表示される (xxx は任意の数字)。
★シックスミニの場合 〈BrailleEDGExxx〉と表示。
★このデバイス名が iPhone から接続を行った時に iPhone から見えるデバイス名なのでメモしておくよい。
- ② [F 4] を押して閉じる。
- ③次の b へ進む。

b) シックス：接続待機状態にする

次に、シックスの接続準備をします。

- ① [バックスペース] + [3・4・5・6] を押す。
→ 一瞬 〈bluetooth オン〉と表示され、元の表示に戻る。
★もう一度 [バックスペース] + [3・4・5・6] を押すと 〈bluetooth オフ〉になる。
- ② [F 3] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。
→ 〈タスク ID：スクリーンリーダーのターミナル〉と表示されスクリーンリーダー ターミナルが開く。
- ③ [オルト] または [コントロール] を押して 〈Bluetooth シリアルポート〉を表示。
- ④ [エンター] を押す。 → 〈ターミナルモード〉と表示。
- ⑤次の c へ進む。

c) iPhone：シックスに接続する

最後に、iPhone から接続します。

- ①iPhone のホームボタン又はサイドボタンをトリプルクリックし、VoiceOver をオンにする。
★VoiceOver をオンにするとジェスチャが変わるので後述の「●VoiceOver ジェスチャの基本」を参照のこと。
- ②ダブルタップで〈設定〉の〈VoiceOver〉のページを開く。
- ③〈点字〉をダブルタップする。
- ④〈開始時に Bluetooth を有効にする〉をダブルタップで〈オン〉にする。
- ⑤〈点字ディスプレイを選択〉の一覧に、前述の「a) シックス：デバイス名の確認」で確認したデバイス名が表示されていることを確認し、それをダブルタップする。
- ⑥しばらくすると iPhone とシックスが接続され、シックスに iPhone の画面が点字表示される。

●VoiceOver ジェスチャの基本

項目を選択して読み上げる … 項目をタップまたはタッチ

選択した項目を有効にする … ダブルタップ

次の項目を選択する … 右にスワイプ

前の項目を選択する … 左にスワイプ

画面上の最初の項目を選択する … 画面の上部近くを 4 本指でタップ

画面上の最後の項目を選択する … 画面の下部近くを 4 本指でタップ

1 ページ分上にスクロールする … 3 本指で下にスワイプ

1 ページ分下にスクロールする … 3 本指で上にスワイプ

通知を消したり、前の画面に戻ったりする

… 2 本指でスクラブ（2 本指を前後に素早く 3 回動かす）

ホーム画面に戻る

… ホームボタンがある場合はホームボタンを押す

… ホームボタンがない場合は、画面の下端から 1 本の指を上ドラッグし、バイブレーションが感じられるか 2 つの上昇音が聞こえたら指を離す

(2) シックス : iPhone との接続を解除する

① [バックスペース] + [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押し、ターミナルモードを終了する。 → 〈スクリーンリーダーのターミナル〉と表示。

② [F 4] または [スペース] + [マ (z) (1・3・5・6)] を押し、〈ユーティリティ〉に戻る。

★最後に iPhone の電源を切り、終了です。

○参考

最初に iPhone の電源を切ることでシックスとの接続を解除し、その後にシックスのターミナルモードを終了しても問題ありません。

4 シックスから iPhone を操作する

それでは、シックスから iPhone を操作してみましょう。

(1) ホーム画面の基本操作

iPhone のホーム画面は、Windows のスタートメニューやブレイルセンスのプログラムメニューのようなもので、アプリを起動したりするときに使用します。ホーム画面の基本操作は以下のとおりです。★その他の詳しい操作については別紙「参考資料 C iPhone のブレイルセンス点字コマンド一覧」を参照してください。

ホーム画面を表示	…	[スペース] + [リ (h) (1・2・5)]
前の項目に戻る	…	[コントロール]
次の項目に進む	…	[オルト]
先頭の項目に移動	…	[スペース] + [ニ (l) (1・2・3)]
最後の項目に移動	…	[スペース] + [4・5・6]
次のページに移動	…	[スペース] + [タ (1・3・5)]
前のページに移動	…	[スペース] + [コ (2・4・6)]
選択したアプリを起動	…	[スペース] + [3・6] を押すか、アプリの名前を表示している点字のタッチカーソルキーを押す

(2) アプリの名前を指定して起動

あらかじめ起動したいアプリの名前が分かっている場合は、それを直接指定して起動することができます。ここではメモアプリを例に挙げます。

a) iOS17 または iOS18 の場合

- ① 前述の「3 シックスと iPhone を接続する」を参考に、シックスと iPhone を接続する。
- ② [スペース] + [リ (h) (1・2・5)] を押して〈ホーム〉画面を表示する。
- ③ [エンター] を押す。
- ④ 「めも」と点字で入力し [スペース] を押す。
→ 点字に〈1[カタカナノ メモ]〉と表示。
- ⑤ [エンター] を押す。 → 点字に〈メモ〉と表示。
- ⑥ [エンター] を押す。 → 点字に〈■メモ■〉と表示。
- ⑦ [エンター] を押す。 → メモアプリが起動する。

b) iOS26 の場合

- ① 前述の「3 シックスと iPhone を接続する」を参考に、シックスと iPhone を接続する。
- ② [バックスペース] + [エンター] を押す。 → 点字に〈アプリを起動〉と表示。
- ③ [エンター] を押す。
- ④ 「めも」と点字で入力し [エンター] を押す。 → メモアプリが起動する。

(3) 文字入力

a) 文字入力の基本

★点字入力中は入力した文字は iPhone の画面には表示されず、エンターで確定すると iPhone に表示されます。

例文「私は汽車に乗った。」を挙げ、メモアプリに入力する方法を示します。

- ①前述の「(2) アプリの名前を指定して起動」を参考に、メモアプリを起動する。
- ②[スペース] + 「4・5・6」を押す。 → 点字に〈新規メモツールバーボタン〉と表示。
- ③[スペース] + 「3・6」を押す。 → 文字入力ができる状態になる。
- ④シックスで「わたしは」と入力する。 → 点字に〈わたしは〉と表示。
- ⑤[スペース]を押す。 → 点字に〈1[してつのし、わたし、ひらがなの は]〉と表示。
- ⑥[エンター]を押す。 → 点字に〈わたしわ〉と表示され、iPhone に〈私は〉と表示。
- ⑦シックスで「きしゃに」と入力する。
- ⑧[スペース]を押す。
→ 点字に〈1[きてきの、き、くるま、でんしゃの しゃ、ひらがなの に]〉と表示。
- ⑨[エンター]を押す。
→ 点字に〈わたしわ きしゃに〉と表示され、iPhone に〈私は汽車に〉と表示。
- ⑩シックスで「のった」と入力する。
- ⑪[スペース]を押す。 → 点字に〈1[じょーしゃするの じょー、のる、ひらがなの た]〉と表示。
- ⑫[エンター]を押す。
→ 点字に〈わたしわ きしゃに のった〉と表示され、iPhone に〈私は汽車に乗った〉と表示。
- ⑬句点 (2・5・6) を入力し [エンター] を押す。

b) 漢字変換候補の選択

複数の漢字候補がある場合、点字キーの [1] で前の変換候補、[4] で次の変換候補を選択することができます。

- ①「きしゃ」と入力する。
- ②[スペース]を押す。 → 点字に〈1[きてきの、き、くるま、でんしゃの しゃ]〉と表示。
- ③[スペース]を押す。 → 点字に〈2[: し よ ききかんしゃ :]〉(絵文字)と表示。
- ④[スペース]を押す。 → 点字に〈3[きろくの き、しるす、がくしゃのしゃ、もの]〉と表示。
- ⑤[1]を押す。 → 点字に〈2[: し よ ききかんしゃ :]〉と表示。
- ⑥[1]を押す。 → 点字に〈1[きてきの、き、くるま、でんしゃの しゃ]〉と表示。
- ⑦[4]を押す。 → 点字に〈2[: し よ ききかんしゃ :]〉と表示。
- ⑧[4]を押す。 → 点字に〈3[きろくの き、しるす、がくしゃのしゃ、もの]〉と表示。

5 ライブキャプションの点字表示機能（iOS26）

iOS26 では、話した言葉を音声認識して点字に表示できるようになりました。さらに、点字ディスプレイから入力した文字を iPhone に読み上げさせることも可能です。これにより、点字や手話を使えない方と盲ろう者との間で、新たなコミュニケーションの可能性が広がります。

操作手順は次のとおりです。

- ①前述の「3 シックスと iPhone を接続する」を参考に、シックスと iPhone を接続する。
 - ② [バックスペース] + [エンター] を押す。 → 点字に〈アプリを起動〉と表示される。
 - ③ [コントロール] または [上スクロール]、[オルト] または [下スクロール] を押して〈ライブキャプション〉を選択する。
 - ④ [エンター] を押す。 → 点字に〈聞き取り中〉と表示される。
 - ⑤ iPhone に向かって話しかける。 → 話した言葉が点字に表示される。
 - ⑥ シックスの [エンター] を押す。 → 点字に〈入力して読み上げ〉と表示される。
 - ⑦ シックスで文字を入力する。
- ★文字を確定するための [エンター] は不要。
- ⑧ [エンター] を押す。 → シックスで入力した文字を iPhone が音声で読み上げる。
 - ⑨ [バックスペース] + [エンター] を押してライブキャプションを終了する。
→ 点字に iPhone の画面内容が再び表示される。

○参考

操作手順⑨では、[スペース] + [リ (h) (1・2・5)] を押すことでもライブキャプションを終了させることができます。

6 音声アシスタント Siri を点字で操作する

iPhone には「Siri（シリ）」という音声アシスタント機能があります。

「音声アシスタント」という名称の通り、音声で聞こえてしゃべることのできる人にとっては話しかけるだけで答えてくれるので非常に便利な機能です。

しかし、目と耳両方に障害のある盲ろう者には Siri の声は聞こえませんが、聴覚障害者や盲ろう者の中には発声のできない人もいます。Siri は盲ろう者とお話しすることはできないのでしょうか？

ここでは、聞くことも話すことも、また画面を見ることもできない盲ろう者が、点字を使って Siri と話す方法をご紹介します。

★操作手順は VoiceOver をオンにした状態です。

(1) Siri を点字で操作するための設定

a) iPhone : Siri の応答メッセージを点字に表示する設定

- ① iPhone の〈設定〉の中の〈Siri〉をダブルタップで開く。
- ② 〈Siri に話しかける〉をダブルタップする。
- ③ 〈“Hey Siri”〉をダブルタップで選択する。
→ Siri の設定を初めて行う場合は Siri の初期設定画面が次々とウィザードで出てくるので、その都度画面に従い実行する。
- ④ 〈ホームボタンを押して Siri を使用〉をダブルタップでオンにする。
- ⑤ 次の b へ進む。

b) iPhone : Siri のタイプ入力を有効にする

Siri は通常音声で会話を行いますが、タイプ入力による会話を行うことができます。

- ① iPhone の〈設定〉の中の〈アクセシビリティ〉をダブルタップで開く。
- ② 〈Siri〉をダブルタップ。
- ③ 〈Siri にタイプ入力〉が〈オフ〉になっていたらダブルタップで〈オン〉にする。
- ④ 次の c へ進む。

c) シックス : Siri を呼び出すコマンドを設定する

ここでは、[バックスペース] + [ノ (s) (2・3・4)] を Siri のタイプ入力を呼び出すコマンドとして設定します。

- ① 前述の「3 シックスと iPhone を接続する」を参考に、シックスと iPhone を接続する。
- ② [スペース] + [リ (h) (1・2・5)] を押して iPhone の〈ホーム〉画面を開く。
- ③ [オルト] や [コントロール] を何度か押して〈設定〉に移動。
- ④ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑤ [オルト] や [コントロール] を何度か押して〈アクセシビリティ〉に移動。

- ⑥ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑦ [オルト] を何度か押して〈VoiceOver〉に移動。
- ⑧ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑨ [オルト] を何度か押して〈点字〉に移動。
- ⑩ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑪ [オルト] を何度か押して〈BrailleSense6xxx〉(接続している点字デバイスの名前)に移動。
- ⑫ [スペース] + [6] を押す。 → 点字に〈詳細情報〉と表示。
- ⑬ [スペース] + [3・6] を押す。
→ 〈点字コマンド〉と表示される。表示されない場合は [オルト] を押して〈点字コマンド〉に移動。
- ⑭ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑮ [オルト] を押して〈デバイス〉に移動。
- ⑯ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑰ [オルト] を押して〈Siri にタイプ入力〉に移動。
- ⑱ [スペース] + [3・6] を押す。
- ⑲ [オルト] を何度か押して〈新規点字キーを割り当てる〉に移動。
- ⑳ [スペース] + [3・6] を押す。 → 〈点字キーを押す〉と表示。
- ㉑ ここで Siri の呼び出しに割り当てたい点字キーの組み合わせ、[バックスペース] + [ノ(s)(2・3・4)] を押す。

(2) シックスから Siri に話しかける

a) シックスから Siri に話しかける (iOS18)

- ① [バックスペース] + [ノ(s)(2・3・4)] を押す。
- ② [スペース] + [ニ(i)(1・2・3)] を押してテキストフィールドに移動する。
- ③ [スペース] + [3・6] を押す。
- ④ 「こんにちは」と入力し、文字を確定するための [エンター] を押す。
- ⑤ [エンター] を押す。
- ⑥ [コントロール] を押す。 → Siri からの答えが表示される。
- ⑦ [下スクロール] などを使って読む。
- ⑧ [オルト] を押す。
- ⑨ [タッチカーソル] を押す。
- ⑩ 「今日の天気は？」のように入力し、文字を確定するための [エンター] を押す。
- ⑪ ⑤から⑩までの操作を繰り返して Siri と会話する。
- ⑫ Siri との会話を終了するには [スペース] + [リ(h)(1・2・5)] を押す。

b) シックスから Siri に話しかける (iOS26)

- ① [バックスペース] + [ノ(s)(2・3・4)] を押す。 → 文字入力できる状態になる。
- ② 「こんにちは」と入力し、文字を確定するための [エンター] を押す。
- ③ [エンター] を押す。

- ④ [コントロール] を押す。 → Siri からの答えが表示される。
- ⑤ [下スクロール] などを使って読む。
- ⑥ [バックスペース] + [ノ (s) (2・3・4)] を押す。 → 文字入力できる状態になる。
- ⑦ 「今日の天気は？」のように入力し、文字を確定するための [エンター] を押す。
- ⑧ [エンター] を押す。
- ⑨ [コントロール] を押す。 → Siri からの答えが表示される。
- ⑩⑤から⑨までの操作を繰り返して Siri と会話する。
- ⑪Siri との会話を終了するには、[スペース] + [リ (h) (1・2・5)] を押す。

■改訂履歴■

初版 2025年11月28日（同年度盲ろう者向け情報機器指導者養成研修会資料）

第2版 2026年2月19日

■謝辞■

本マニュアルの執筆・編集に際して、「盲ろう者情報機器活用訓練等促進事業」企画委員である大河内直之氏、九曜弘次郎氏、清水実浩氏、村岡寿幸氏、森下摩利氏、渡井秀匡氏、各位に対し、この場を借りてお礼申し上げます。

■著作権■

本書は幅広く盲ろう者の情報機器利用に資するため、無償にて公開しておりますが、本誌のテキストおよび写真等を利用した営利目的での販売物の作成、またはこれに準ずる行為を禁じます。また、配付資料として利用する際は、本書奥付の書名および発行・編集名を分かりやすい位置に明示してください。

書名：ブレイルセンスシックス指導者向け操作マニュアル

ファームウェア 70458（20250818版）（第2版）

発行：2026年2月19日

発行・編集：社会福祉法人 全国盲ろう者協会

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町67番地 早稲田クローバービル3階

電話 03-5287-1140 FAX 03-5287-1141 メール info@jdba.or.jp

URL <https://www.jdba.or.jp/>